

令和5年度 さいたま市民意識調査

中間報告書

令和5年8月

さいたま市市長公室秘書広報部広聴課

# 目次

---

## I 調査概要

1	調査の目的	1
2	調査の項目	1
3	調査の設計	1
4	回収結果	1
5	調査実施機関	1
6	この中間報告書の見方	2

## II 在住者意識調査

1	調査結果の要約	4
2	回答者の属性	5
3	調査の結果	7
	(1) 地域での生活	7
	(2) さいたま市のイメージ	14
	(3) 市政との関わり	17
	(4) 市政への満足度・重視度	21
	(5) さいたま市の道路	23
	(6) SDGs	24
	(7) 今の地域を選んだ理由	26

## III 在勤者意識調査

1	調査結果の要約	32
2	回答者の属性	33
3	調査の結果	35
	(1) さいたま市のイメージ	35
	(2) 市内での活動	40

# I 調査概要

## 1 調査の目的

本調査は、広聴事業の一環として、施策に対する市民の意向等を把握し、今後の市政運営の参考とすることを目的に行った。

## 2 調査の項目

### (1) 在住者意識調査

- ① 地域での生活
- ② さいたま市のイメージ
- ③ 市政との関わり
- ④ 市政への満足度・重視度
- ⑤ さいたま市の道路
- ⑥ SDGs
- ⑦ 今の地域を選んだ理由

### (2) 在勤者意識調査

- ① さいたま市のイメージ
- ② 市内での活動

## 3 調査の設計

### (1) 在住者意識調査

- ① 調査地域：さいたま市全域
- ② 調査対象：さいたま市在住の満18歳以上の男女
- ③ 調査対象数：5,000人
- ④ 抽出法：住民基本台帳に基づく層化多段無作為抽出
- ⑤ 調査方法：郵送配布・郵送回収法
- ⑥ 調査期間：令和5年6月1日（木）～令和5年6月19日（月）

### (2) 在勤者意識調査

- ① 調査地域：さいたま市全域の事業所
- ② 調査対象：さいたま市外からさいたま市内の事業所に通勤する満18歳以上の男女
- ③ 調査対象数：2,000人
- ④ 抽出法：市内の事業所を無作為に抽出し、事業所を通じて個人への調査を依頼
- ⑤ 調査方法：事業所へ郵送配布・郵送回収法
- ⑥ 調査期間：令和5年6月1日（木）～令和5年6月19日（月）

## 4 回収結果

(1) 在住者意識調査	有効回収数	2,215	有効回収率	44.3%
(2) 在勤者意識調査	有効回収数	550	有効回収率	27.5%

## 5 調査実施機関 株式会社 物流科学研究所

## 6 この中間報告書の見方

- (1) 図中に示した「n」とは、各設問の回答者数を示す。
- (2) 回答比率は、nを基数とした百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。  
そのため、百分率の合計が100.0％にならないことがある。
- (3) 複数回答の質問では、百分率の合計は100.0％を超える。
- (4) 本結果は「さいたま市民意識調査」の調査結果の一部を簡潔に整理し、概要を示した。  
詳細な分析や考察などは後日（令和5年12月予定）刊行する報告書に掲載する。
- (5) 作図の便宜上、一部の文字数が多い項目名や選択肢で、図中の表記においてかっこ内の文字を割愛したことがある。
- (6) 各調査の分析は、抽出調査で生じる数パーセントの誤差を考慮して記述した。

## Ⅱ 在住者意識調査

## 1 調査結果の要約

### (1) 住みやすい人は9割近く、住み続けたい人は8割半ば

今の地域が住みやすいと思う人（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）（86.6%）は9割近く、今の地域に住み続けたい人（「ずっと住み続けたい」と「当分の間住み続けたい」の合計）（85.2%）は8割半ばであった。（参照：報告書7～8ページ・問2、問3）

### (2) 地域の満足度は20項目中8項目で7割を超える

地域の満足度（「満足」と「やや満足」の合計）は、「自然災害による被害の少なさ」が80.4%で最も高く、「ふだんの買い物の利便性」（79.1%）、「周りの静けさ・清潔さ」（78.0%）、「治安のよさ」（76.9%）、「電車の便」（76.5%）が続いた。（参照：報告書12ページ・問6（1））

### (3) 特に知りたい情報は「災害が起こりやすい危険箇所の情報」、「予防接種や夜間当番医などの医療情報」が4割を超える

さいたま市役所からの情報で、特に知りたいと思う情報では、「災害が起こりやすい危険箇所の情報」が43.4%で最も高く、「予防接種や夜間当番医などの医療情報」（42.3%）、「道路や駅前の今後の整備計画」（40.0%）が続いた。（参照：報告書17ページ・問9）

### (4) 情報の入手方法として充実すべき媒体は「市報さいたま」、「市や区のホームページ」が多い

市の情報の入手方法として充実すべき媒体は、「市報さいたま」が55.4%で最も高く、「市や区のホームページ」（43.6%）、「市のTwitter・Facebook・LINE・Instagram」（28.0%）が続いた。

（参照：報告書18ページ・問10）

### (5) 今後力を入れて取り組んでほしい事業は「高齢者福祉の充実」が5割近く

事業分野別のニーズは、「高齢者福祉の充実」が47.1%で最も高く、「身近な公共交通／生活道路・自転車利用環境の整備」（44.9%）、「交通事故防止／防犯対策の推進」（41.2%）が続いた。

（参照：報告書22ページ・問14）

### (6) 市内の公共交通・生活道路・自転車利用環境の向上で特に重視することは「自転車通行環境の整備」が6割近く、市内の幹線道路に最も求める機能（こと）は「安全（安全に移動できる道路）」が6割を超える

市内の公共交通・生活道路・自転車利用環境の向上で特に重視することは、「自転車通行環境の整備」が57.2%で最も高かった。また、市内の幹線道路に最も求める機能（こと）は、「安全（安全に移動できる道路）」が63.5%で最も高かった。（参照：報告書23ページ・問15、問16）

### (7) 「SDGs」の認知度は8割半ば、行動している人は5割半ば

「SDGs」を知っていた人（「内容まで知っていた」と「SDGsという言葉聞いたことがあった、または、ロゴを見たことがあった」の合計）は、85.7%であった。また、SDGsの17の目標のうち、1つでも意識して行動をしている人（「常に意識して行動している」と「何かのきっかけで意識したときに行動することがある」の合計）（54.6%）は5割半ばであった。

（参照：報告書24、26ページ・問17、問19）

## 2 回答者の属性

性別、年代、居住区については、さいたま市の人口（令和5年5月1日現在の18歳以上人口）と対比を行った。

### (1) 性別

属性	回答者数	比率	市全体の人口比率
男性	938	42.3%	49.2%
女性	1,238	55.9	50.8
選べない・答えたくない	14	0.6	
無回答	25	1.1	
全体	2,215	100.0	100.0

### (2) 年代

属性	回答者数	比率	市全体の人口比率
18～19歳	35	1.6%	2.2%
20代	186	8.4	13.5
30代	304	13.7	15.0
40代	385	17.4	17.5
50代	435	19.6	17.9
60代	390	17.6	12.2
70歳以上	457	20.6	21.7
無回答	23	1.0	
全体	2,215	100.0	100.0

### (3) 居住区

属性	回答者数	比率	市全体の人口比率
西区	133	6.0%	7.0%
北区	243	11.0	11.2
大宮区	226	10.2	9.4
見沼区	269	12.1	12.4
中央区	176	7.9	7.8
桜区	134	6.0	7.3
浦和区	313	14.1	12.4
南区	320	14.4	14.3
緑区	202	9.1	9.6
岩槻区	175	7.9	8.5
無回答	24	1.1	
全体	2,215	100.0	100.0

### (4) 主な移動手段（複数回答）

属性	回答者数	比率
徒歩	1,174	53.0%
自転車	998	45.1
自家用車	1,123	50.7
バイク	51	2.3
電車	1,219	55.0
バス	545	24.6
タクシー	93	4.2
その他	9	0.4
無回答	23	1.0

### (5) 職業

属性	回答者数	比率
自営業主・家業手伝い	133	6.0%
勤め人(正規職員・正社員)	809	36.5
勤め人(パート・アルバイトなど)	403	18.2
学生	74	3.3
専業主婦・専業主夫	352	15.9
無職	339	15.3
その他	23	1.0
無回答	82	3.7
全体	2,215	100.0

#### (5-1) 勤務先・通学先

属性	回答者数	比率
さいたま市内	646	45.5%
さいたま市以外の埼玉県内	223	15.7
東京都23区	437	30.8
その他の東京都	39	2.7
その他の道府県	54	3.8
無回答	20	1.4
有職者・学生全体	1,419	100.0

#### (5-2) 通勤・通学時間

属性	回答者数	比率
30分未満	562	39.6%
30分～1時間未満	371	26.1
1時間～1時間半未満	347	24.5
1時間半～2時間未満	95	6.7
2時間以上	16	1.1
無回答	28	2.0
有職者・学生全体	1,419	100.0

(6) 同居している家族構成

属 性	回答者数	比率
一人暮らし	244	11.0%
夫婦だけ	611	27.6
親子(2世代)	1,141	51.5
親と子と孫(3世代)	100	4.5
その他	42	1.9
無回答	77	3.5
全 体	2,215	100.0

(7) 子どもの有無

属 性	回答者数	比率
いる	1,449	65.4%
いない	692	31.2
無回答	74	3.3
全 体	2,215	100.0

(7-1) 子どもの年代(複数回答)

属 性	回答者数	比率
小学校入学前(0~6歳)	225	15.5%
小学生・中学生	293	20.2
高校生・大学生・大学院生・ 短大生・専門学校生	244	16.8
学校教育終了	757	52.2
その他	134	9.2
無回答	9	0.6

(8) 65歳以上の家族の有無

属 性	回答者数	比率
いる	1,113	50.2%
いない	1,046	47.2
無回答	56	2.5
全 体	2,215	100.0

(9) 居住形態

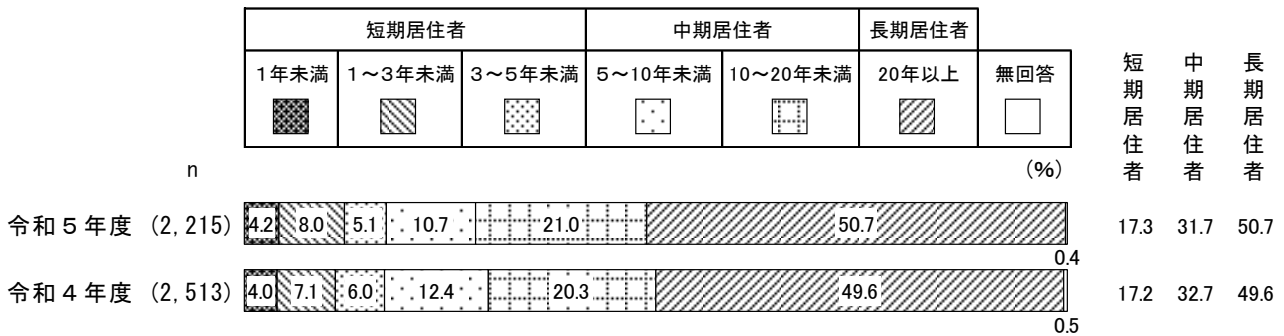
属 性	回答者数	比率
持ち家の一戸建て	1,171	52.9%
持ち家の集合住宅	502	22.7
社宅、公務員住宅など	31	1.4
民間の借家(一戸建て、集合住宅)	367	16.6
公営の借家(UR、市・県営住宅など)	51	2.3
その他	19	0.9
無回答	74	3.3
全 体	2,215	100.0



### 3 調査の結果

#### (1) 地域での生活

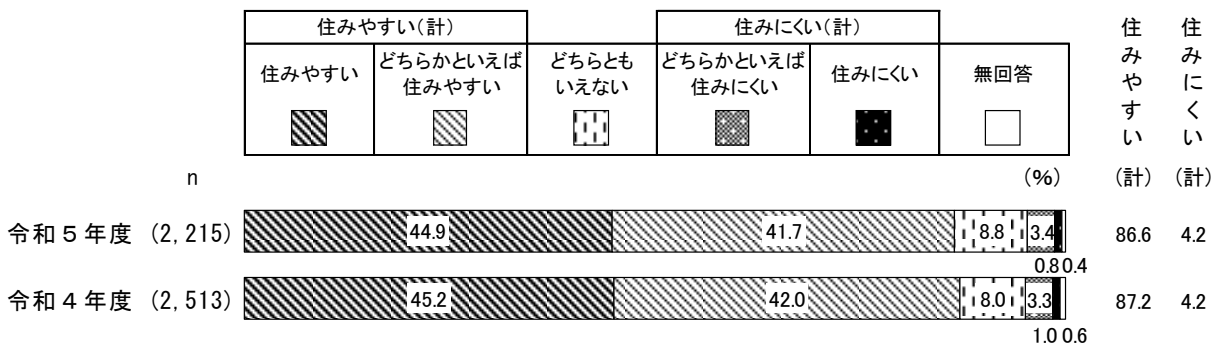
問1 あなたは、現在の「地域」にお住まいになって何年になりますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)



「1年未満」(4.2%)、「1～3年未満」(8.0%)、「3～5年未満」(5.1%)を合わせた『短期居住者』が17.3%、「5～10年未満」(10.7%)と「10～20年未満」(21.0%)を合わせた『中期居住者』が31.7%、「20年以上」の『長期居住者』が50.7%であった。

令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。

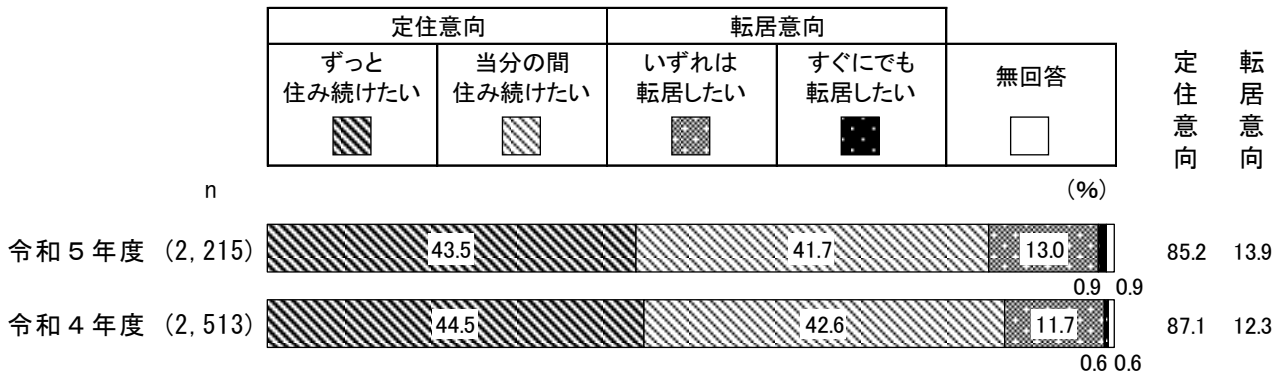
問2 あなたがお住まいの「地域」の住み心地はどうか。(○は1つ)



「住みやすい」(44.9%)と「どちらかといえば住みやすい」(41.7%)を合わせた『住みやすい(計)』(86.6%)は9割近くであった。一方、「どちらかといえば住みにくい」(3.4%)と「住みにくい」(0.8%)を合わせた『住みにくい(計)』(4.2%)は1割未満であった。

令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。

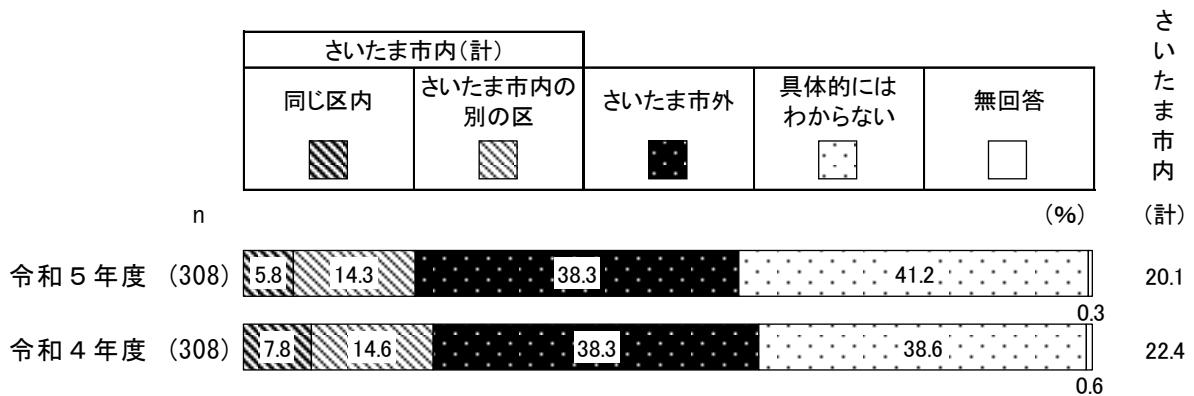
問3 あなたは、現在お住まいの「地域」にこれからも住みたいと思いますか。(〇は1つ)



「ずっと住みたい」(43.5%)と「当分の間住みたい」(41.7%)を合わせた『定住意向』(85.2%)は8割半ばであった。一方、「いずれは転居したい」(13.0%)と「すぐにでも転居したい」(0.9%)を合わせた『転居意向』(13.9%)は1割を超えた。

令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。

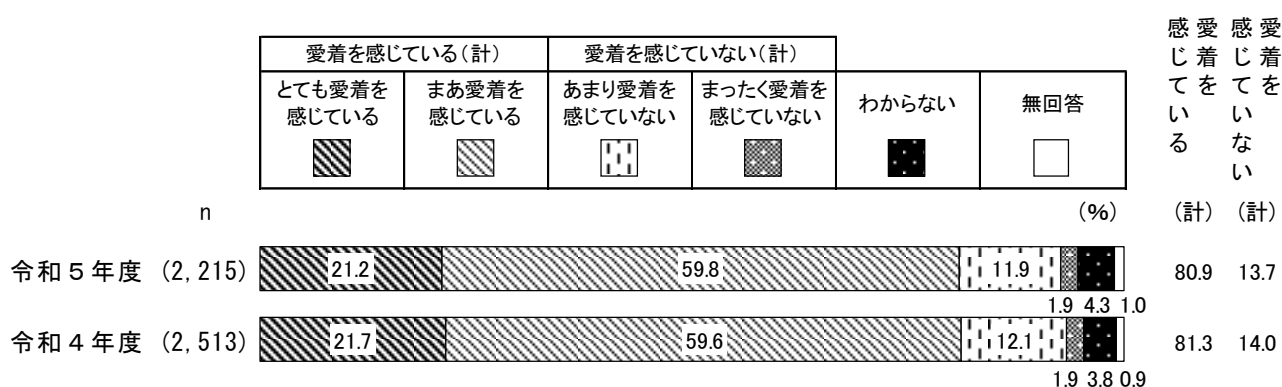
(問3で「いずれは転居したい」「すぐにでも転居したい」と答えた方に)  
問3-1 どこに転居したいと思いますか。(〇は1つ)



「いずれは転居したい」「すぐにでも転居したい」と答えた人の、希望する転居先は、「さいたま市外」が38.3%で、「同じ区内」(5.8%)と「さいたま市内の別の区」(14.3%)を合わせた『さいたま市内(計)』(20.1%)を上回った。

令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。

問4 あなたは、現在お住まいの「地域」に愛着を感じていますか。(○は1つ)

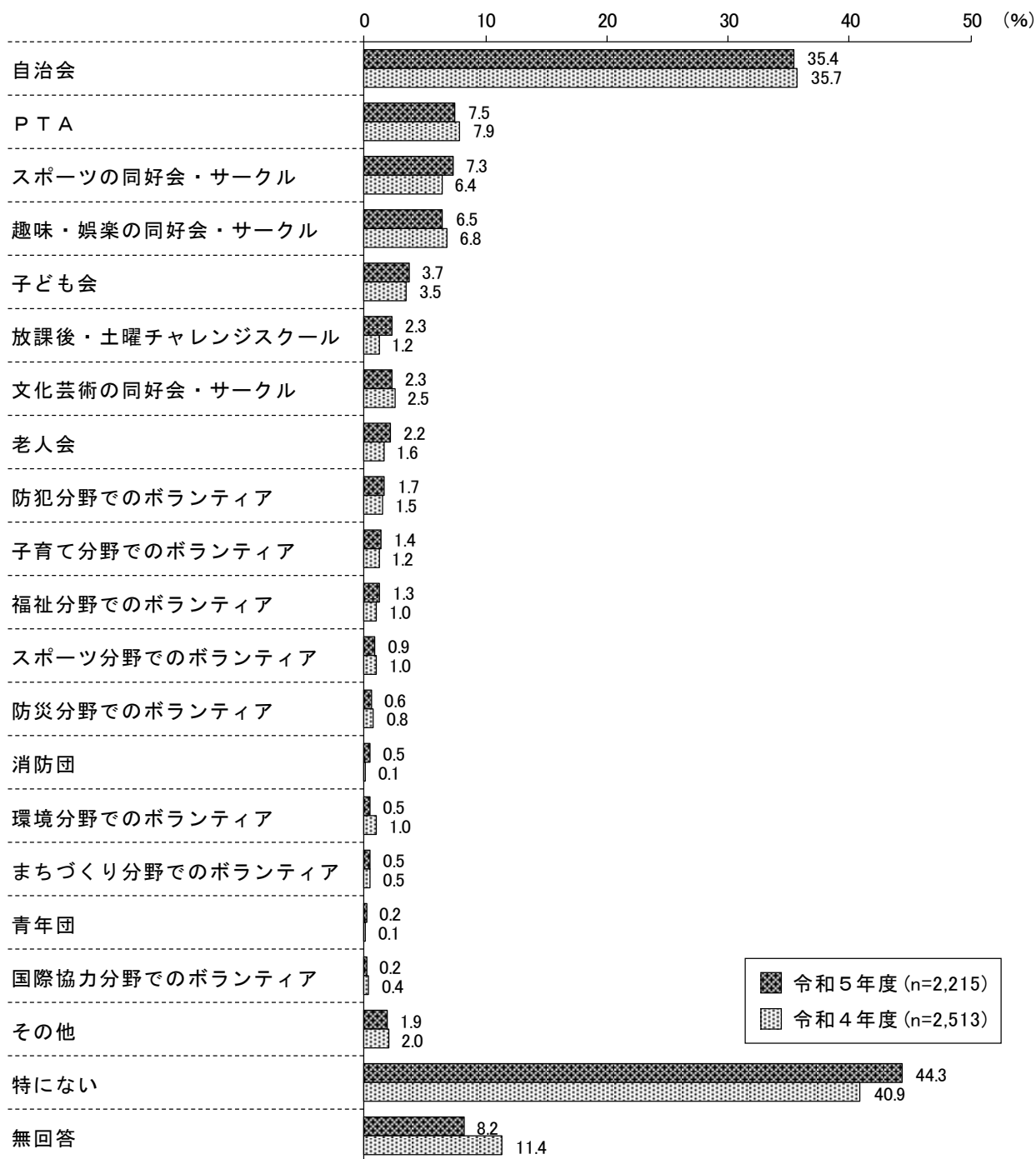


「とても愛着を感じている」(21.2%)と「まあ愛着を感じている」(59.8%)を合わせた『愛着を感じている(計)』(80.9%)はほぼ8割であった。一方、「あまり愛着を感じていない」(11.9%)と「まったく愛着を感じていない」(1.9%)を合わせた『愛着を感じていない(計)』(13.7%)は1割を超えた。

令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。

問5 あなたは、どんな活動に参加していますか。

(1) 現在、参加しているすべての活動に○をつけてください。(○はいくつでも)

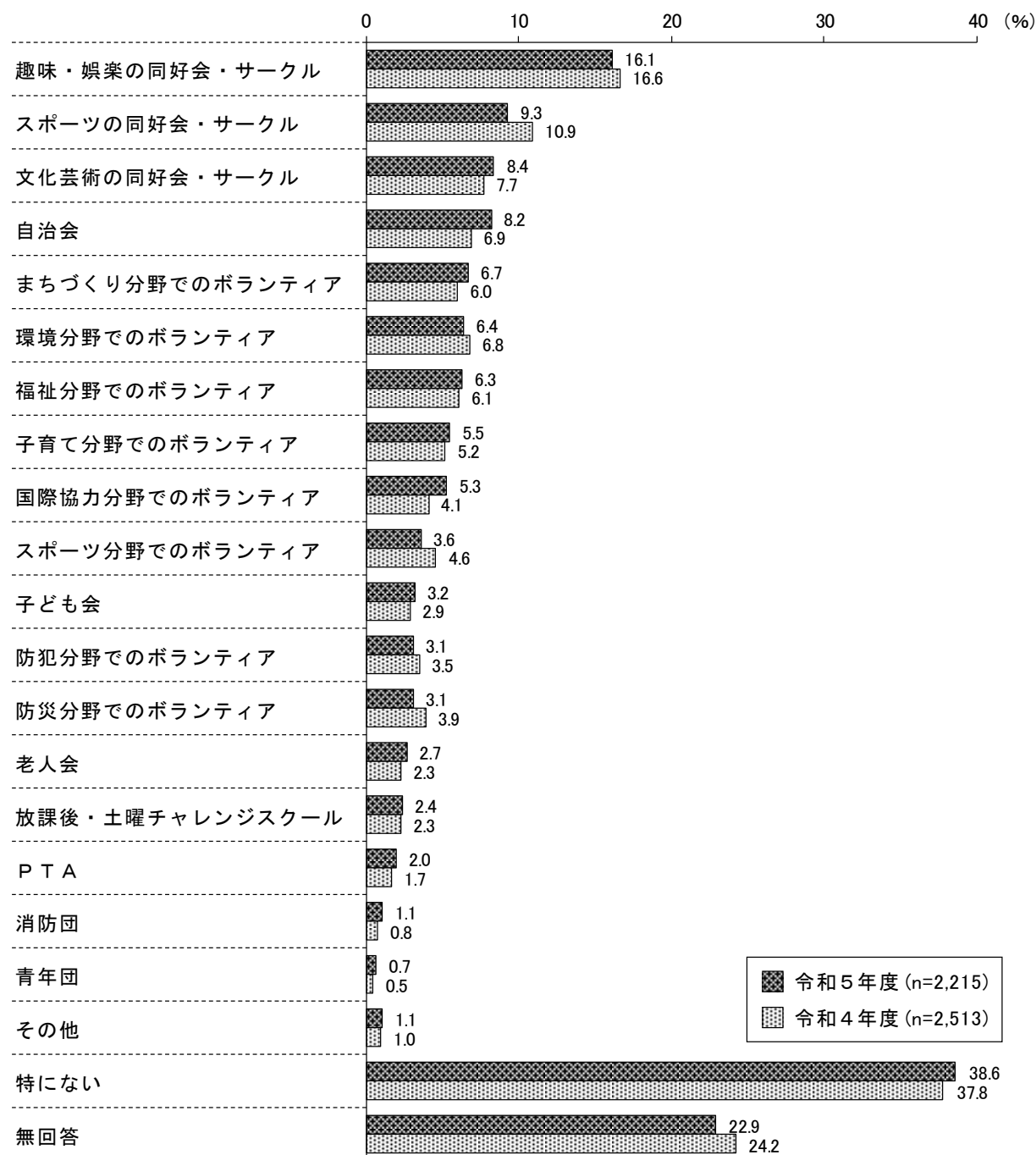


「自治会」(35.4%)が3割半ばで、それ以外の活動はいずれも1割未満であった。一方、参加している活動が「特にない」(44.3%)は4割半ばであった。

令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。

問5 あなたは、どんな活動に参加していますか。

(2) 今後、参加したいと思うすべての活動に○をつけてください。引き続き参加したい活動も含みます。(○はいくつでも)



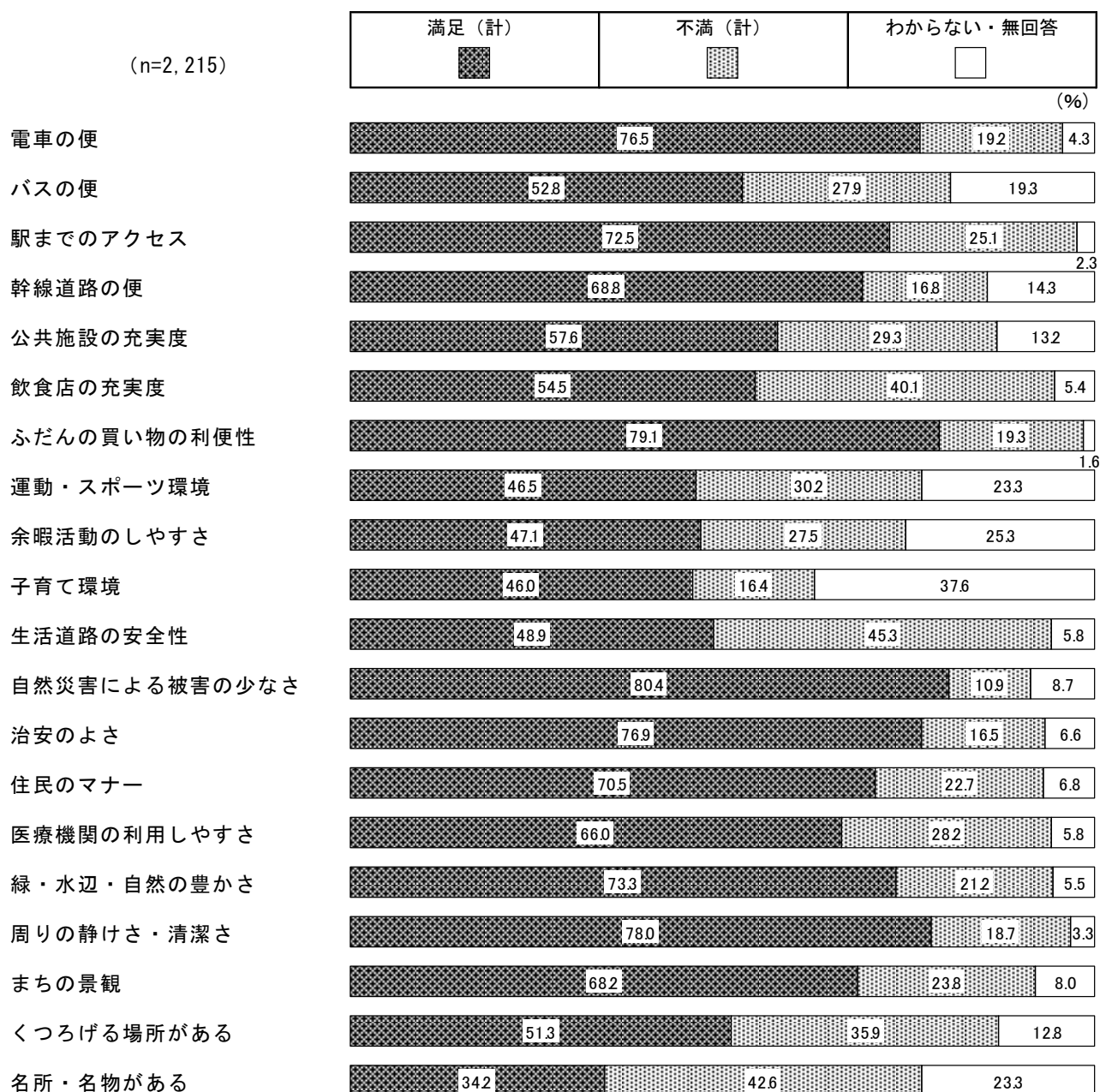
「趣味・娯楽の同好会・サークル」(16.1%)が1割半ばで、それ以外の活動はいずれも1割未満であった。一方、今後、参加したいと思う活動が「特にない」(38.6%)は4割近くであった。

令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。

問6 あなたの現在お住まいの「地域」について質問します。

(1) あなたは、お住まいの「地域」について、どの程度満足していますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

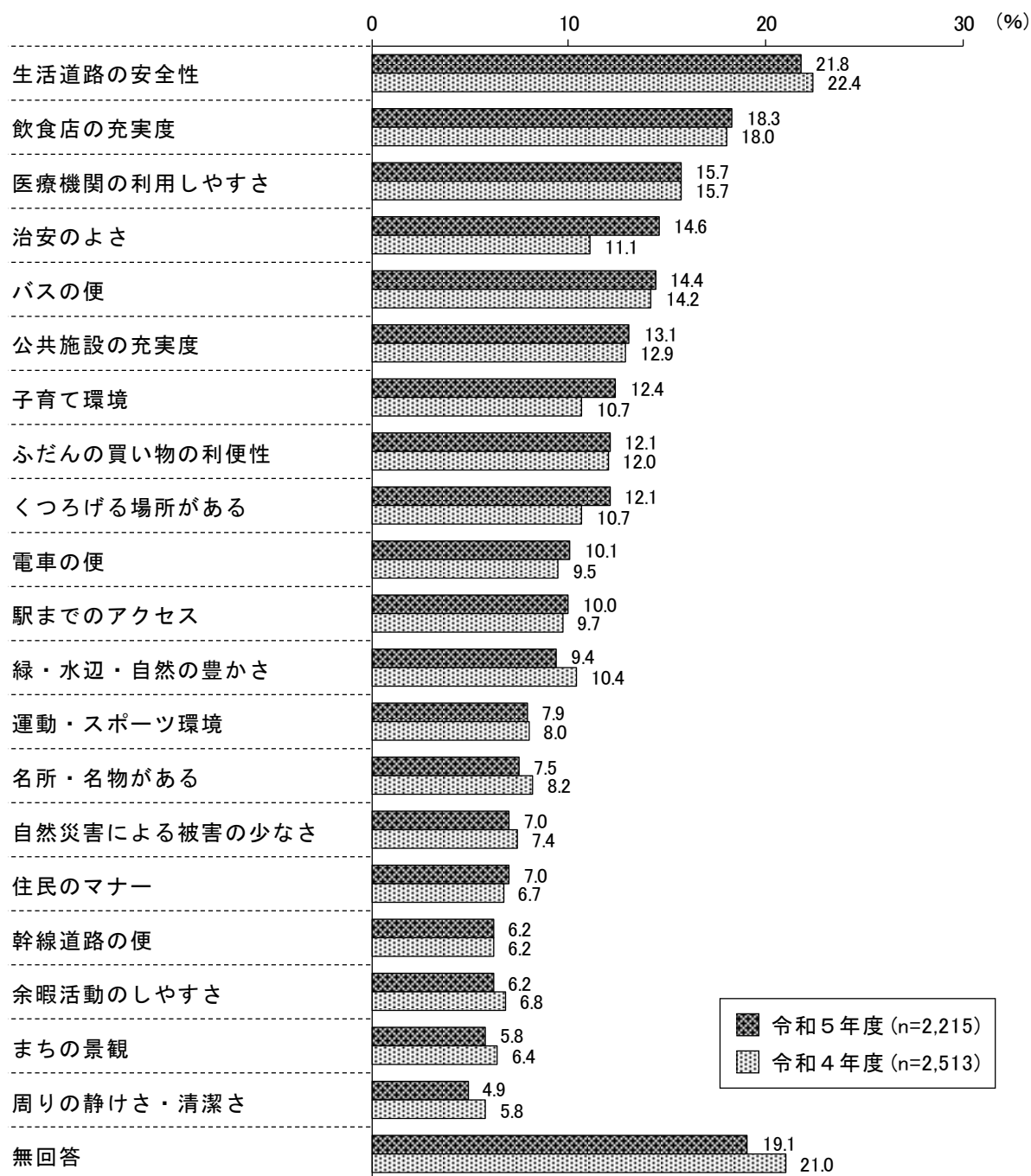


「満足」と「やや満足」を合わせた『満足 (計)』は、「自然災害による被害の少なさ」(80.4%)、「ふだんの買い物の利便性」(79.1%)、「周りの静けさ・清潔さ」(78.0%)が8割前後であった。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満 (計)』は、「生活道路の安全性」(45.3%)、「名所・名物がある」(42.6%)、「飲食店の充実度」(40.1%)が4割台であった。

問6 あなたの現在お住まいの「地域」について質問します。

(2) あなたは、お住まいの「地域」が、今後どのような方向へ発展してほしいと思いますか。

(〇は3つまで)



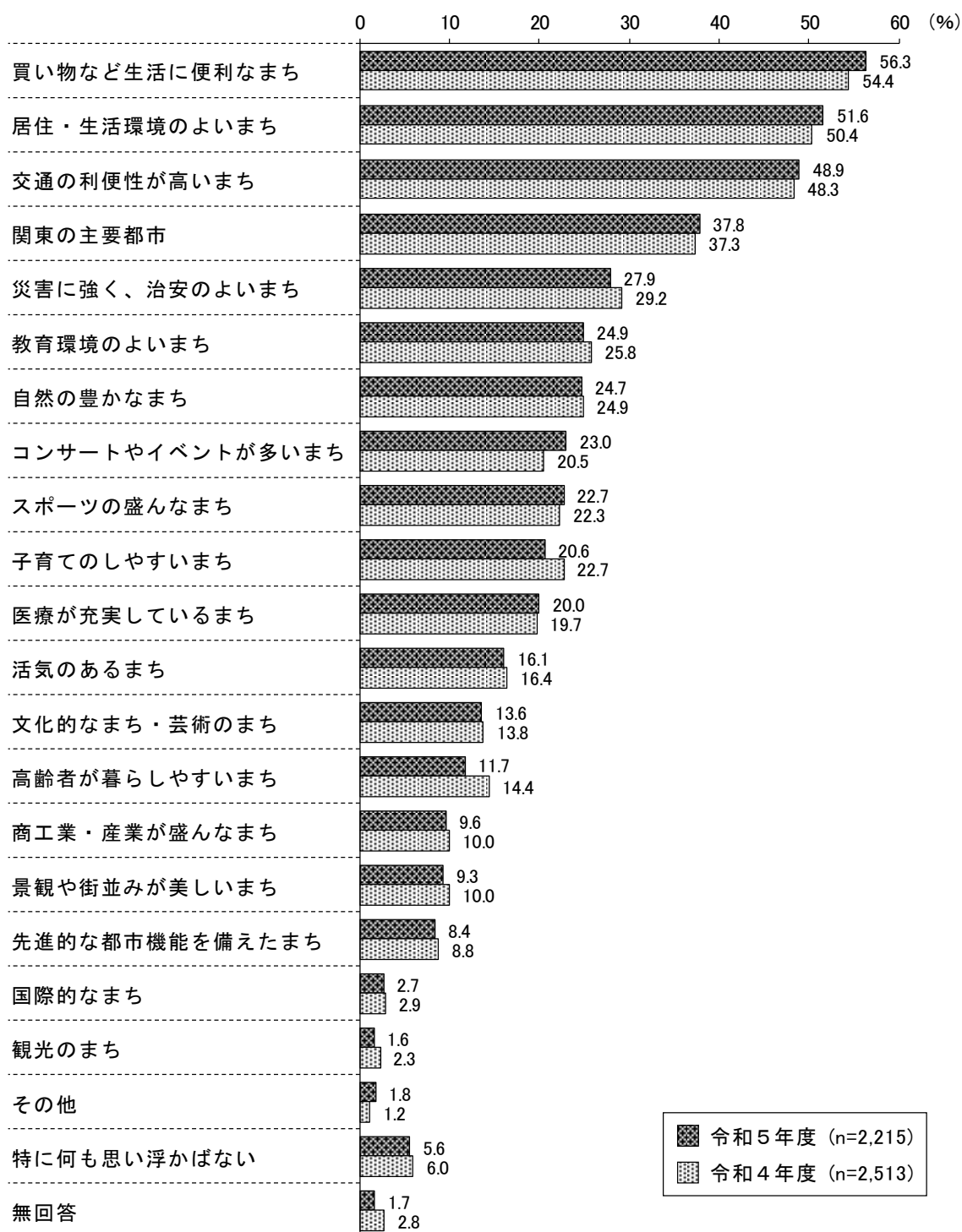
「生活道路の安全性」が21.8%で最も高く、「飲食店の充実度」(18.3%)、「医療機関の利用しやすさ」(15.7%)が続いた。

令和4年度の調査結果と比較すると、「治安のよさ」(14.6%)が3.5ポイント増加した。

## (2) さいたま市のイメージ

問7 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。

(1) あなたは、「さいたま市」にどのようなイメージを持っていますか。(〇はいくつでも)



「買い物など生活に便利なまち」が56.3%で最も高く、「居住・生活環境のよいまち」(51.6%)、「交通の利便性が高いまち」(48.9%)が続いた。

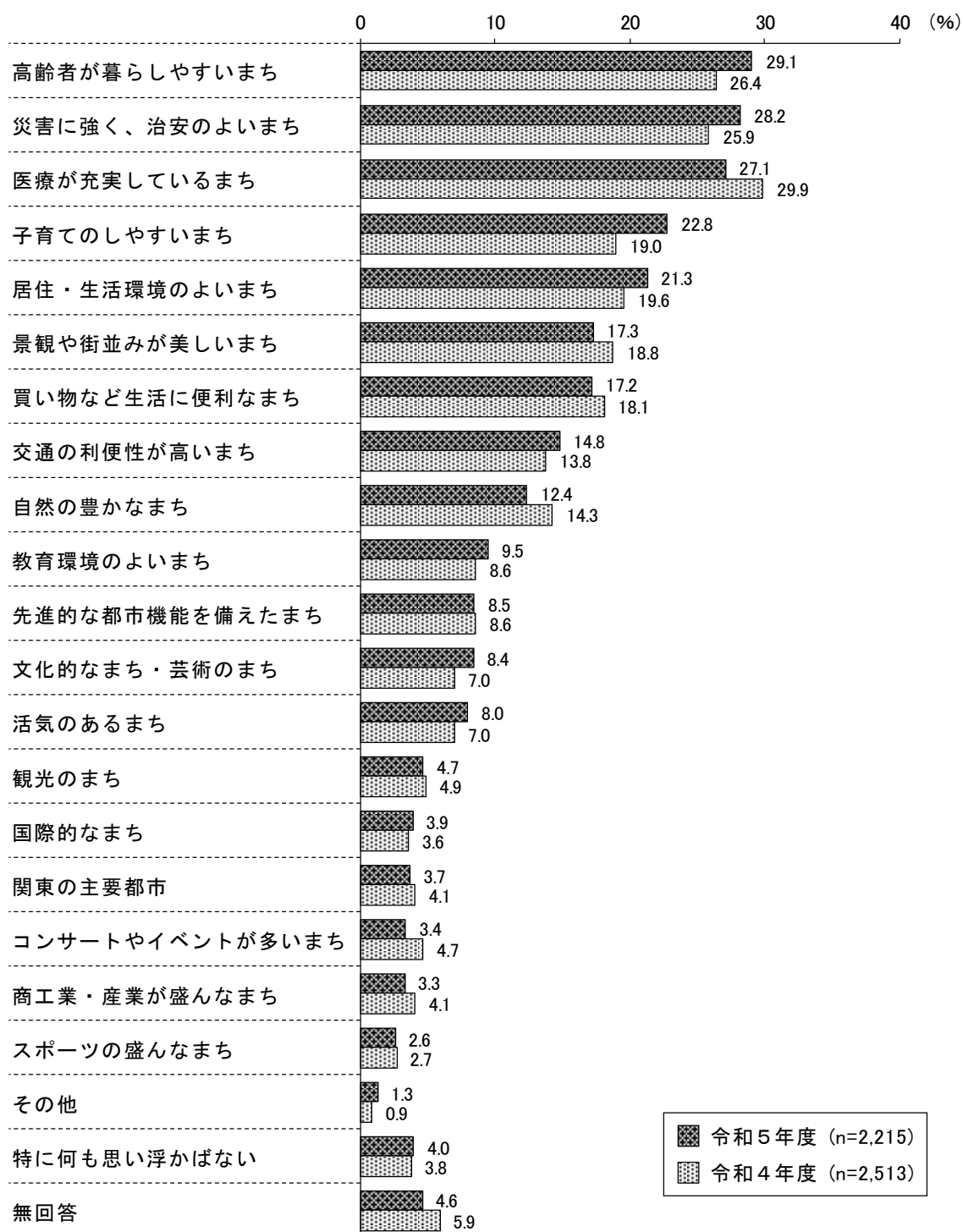
令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。



問7 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。

(2) あなたは、「さいたま市」が、今後どのような方向へ発展してほしいと思いますか。

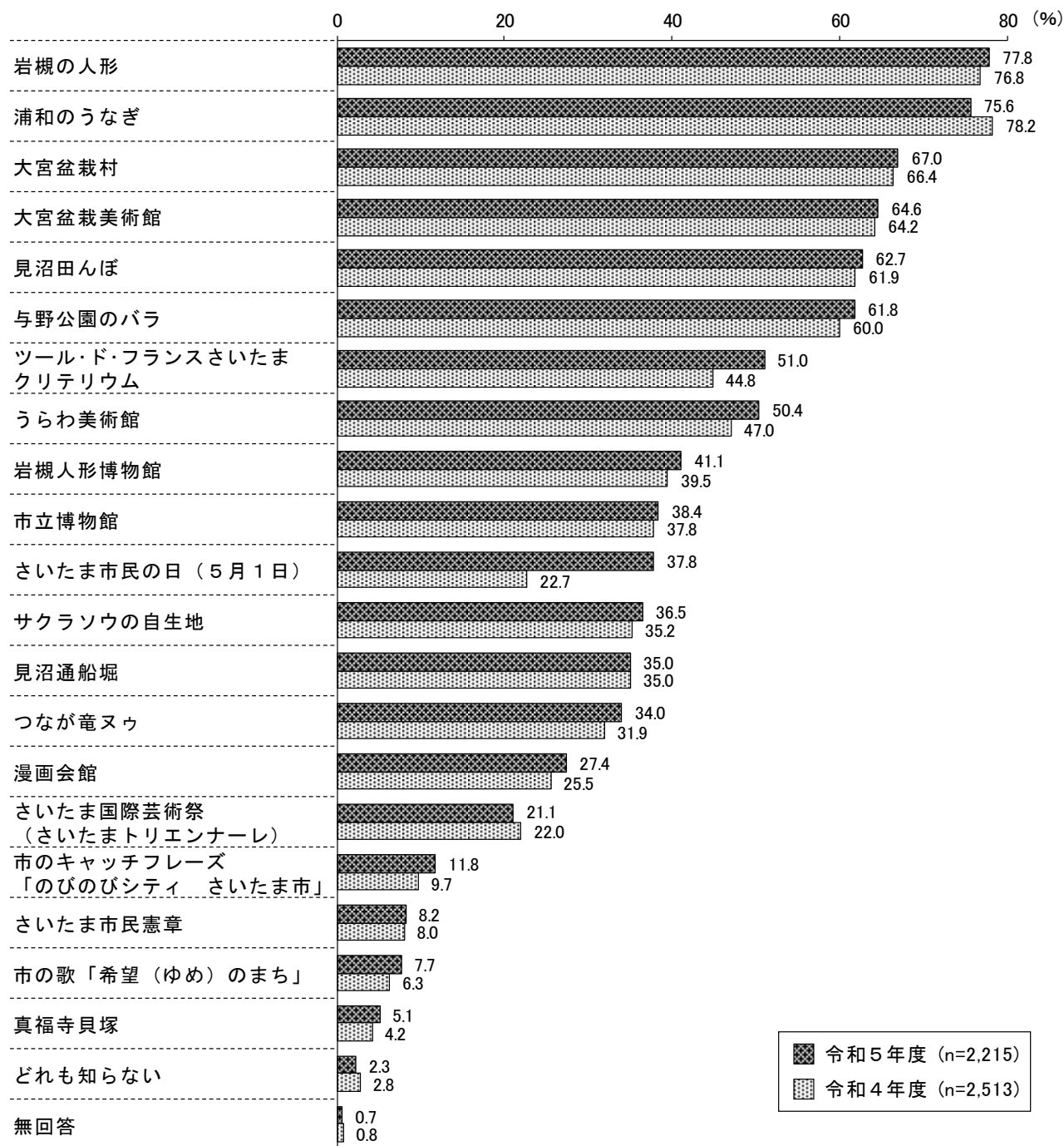
(〇は3つまで)



「高齢者が暮らしやすいまち」が29.1%で最も高く、「災害に強く、治安のよいまち」(28.2%)、「医療が充実しているまち」(27.1%)が続いた。

令和4年度の調査結果と比較すると、「子育てのしやすいまち」(22.8%)が3.8ポイント増加した。

問8 さいたま市の施設、名所、文化財、伝統産業、イベントなどについて、あなたが知っているものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

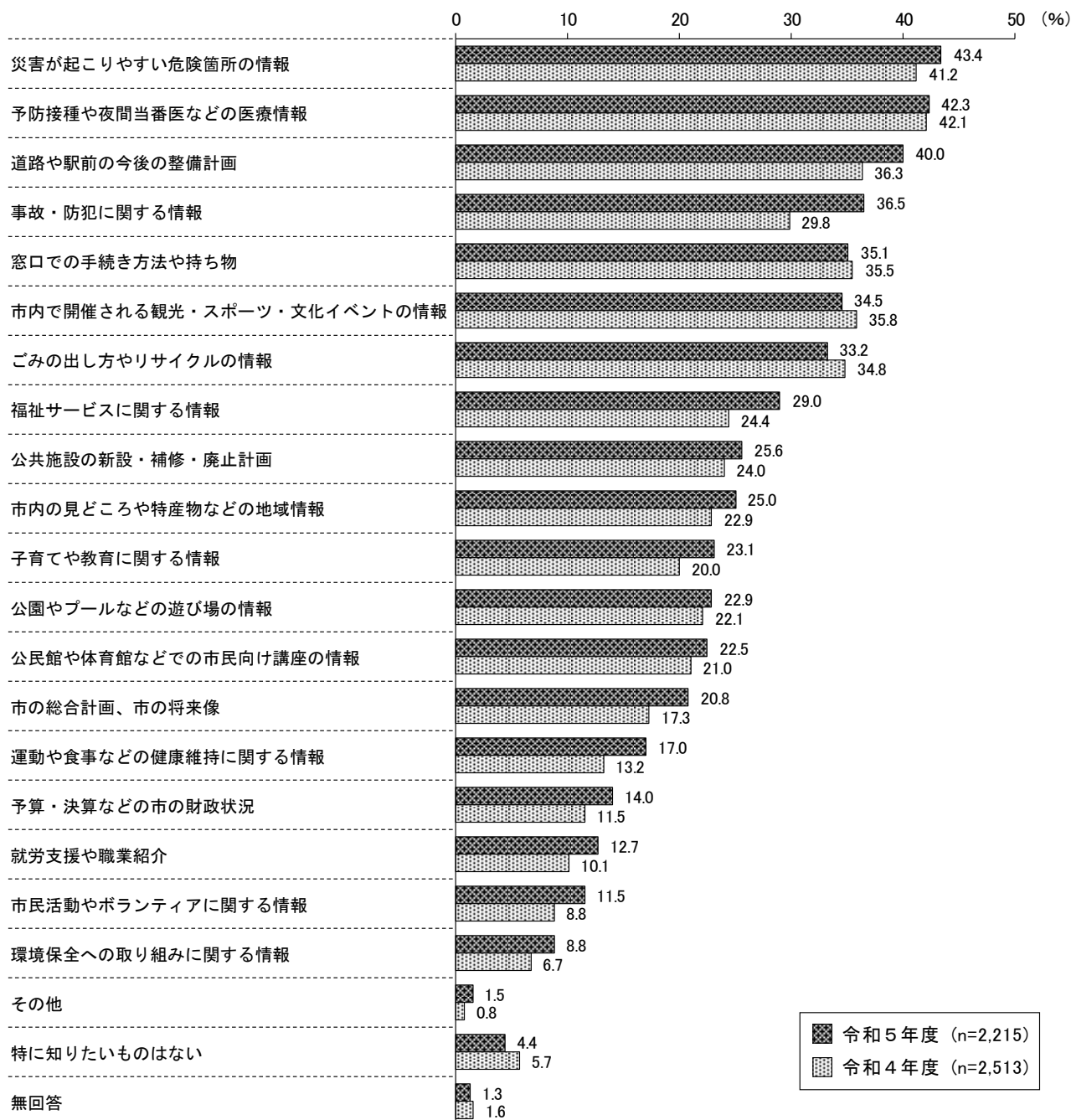


「岩槻の人形」が77.8%で最も高く、「浦和のうなぎ」(75.6%)、「大宮盆栽村」(67.0%)が続いた。令和4年度の調査結果と比較すると、「さいたま市民の日 (5月1日)」(37.8%)が15.1ポイント、「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」(51.0%)が6.2ポイント増加した。

### (3) 市政との関わり

問9 さいたま市役所からの情報で、あなたが特に知りたいのはどのような情報ですか。

(〇はいくつでも)

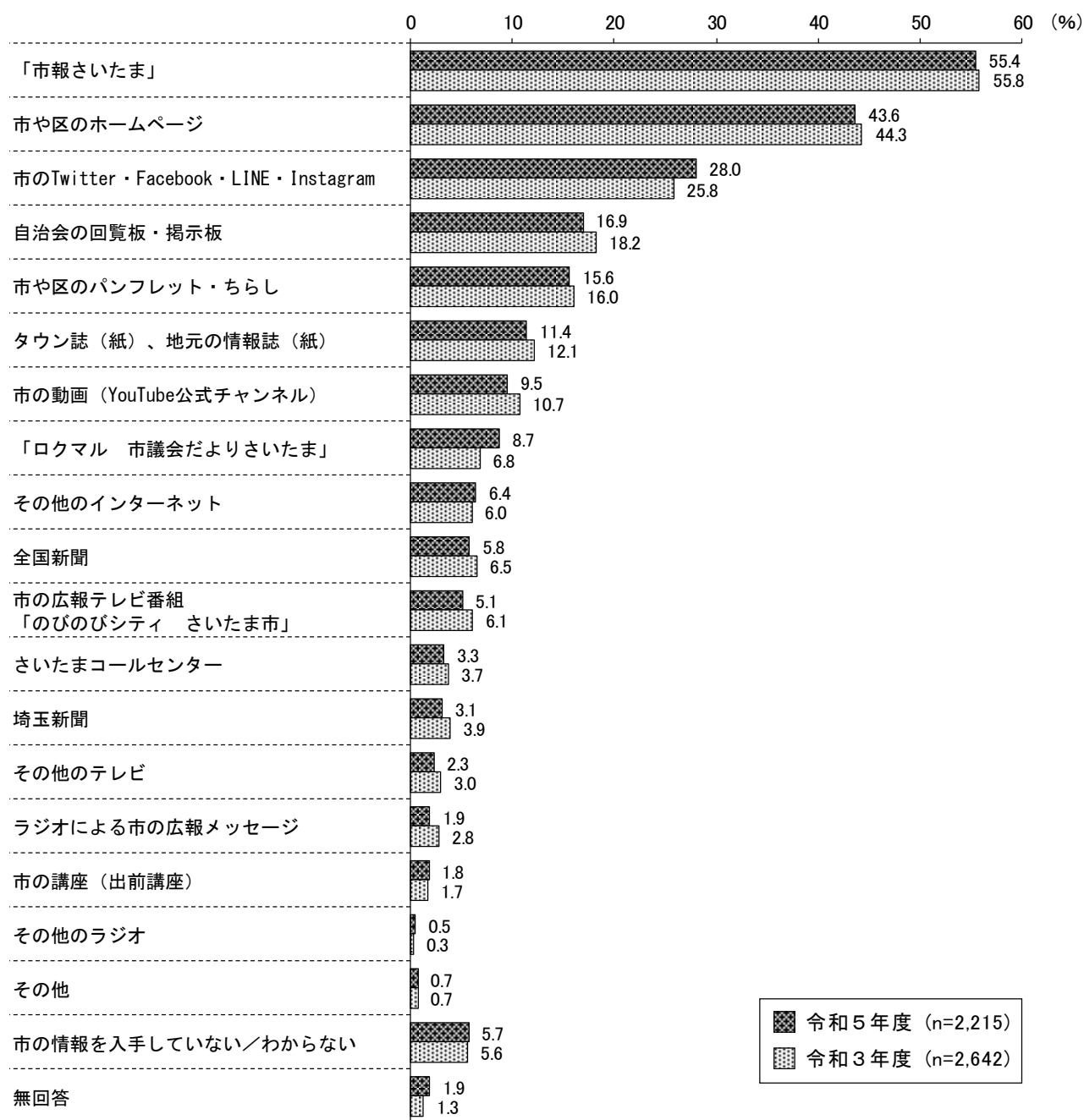


「災害が起こりやすい危険箇所の情報」が43.4%で最も高く、「予防接種や夜間当番医などの医療情報」(42.3%)、「道路や駅前の今後の整備計画」(40.0%)が続いた。

令和4年度の調査結果と比較すると、「事故・防犯に関する情報」(36.5%)が6.7ポイント、「福祉サービスに関する情報」(29.0%)が4.6ポイント増加した。

問10 あなたは、さいたま市役所が発信する情報を入手するにあたり、今後、どのような媒体が充実するとよいと思いますか。以下の中から、あてはまるものを3つまで選んでください。

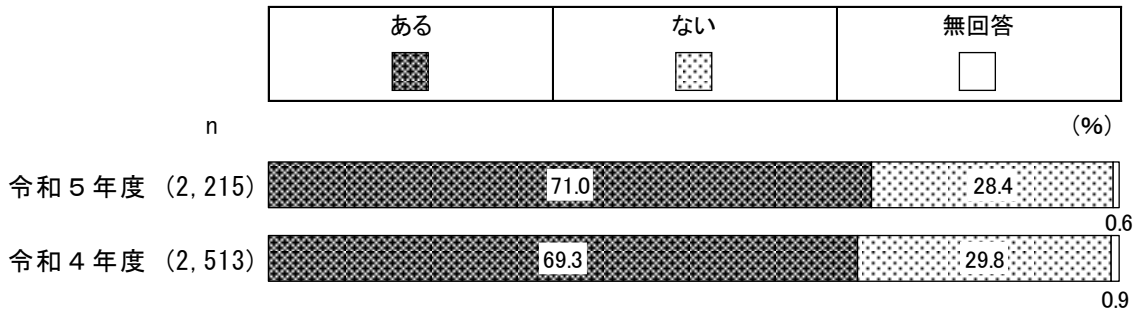
(○は3つまで)



「市報さいたま」が55.4%で最も高く、「市や区のホームページ」(43.6%)、「市のTwitter・Facebook・LINE・Instagram」(28.0%)が続いた。

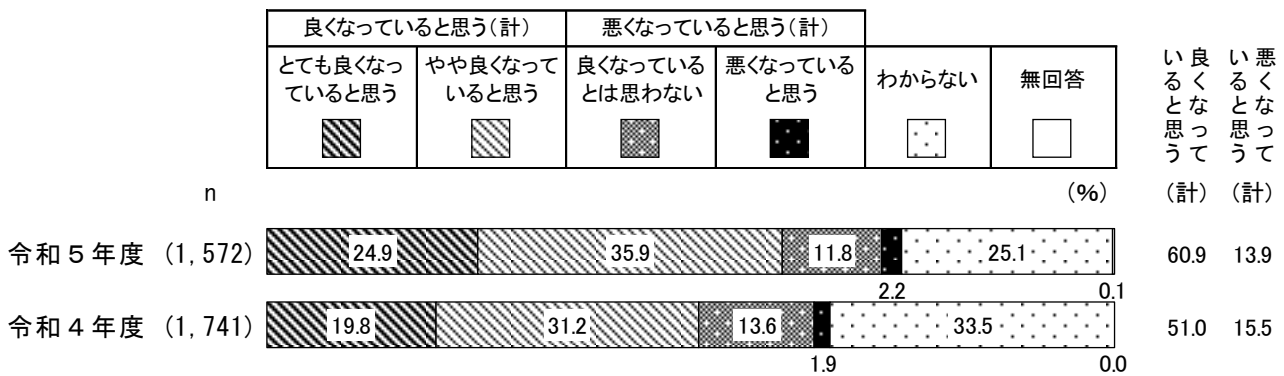
令和3年度の調査結果と、おおむね同じであった。

問 11 あなたは、この1年以内で、市・区役所を利用したり、電話で問い合わせをしたりしたことがありますか。(〇は1つ)



1年以内に利用・問い合わせ経験が「ある」は71.0%であった。  
令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。

(問11で「ある」と答えた方に)  
問 11-1 あなたは、最近の市職員のイメージをどう思いますか。(〇は1つ)

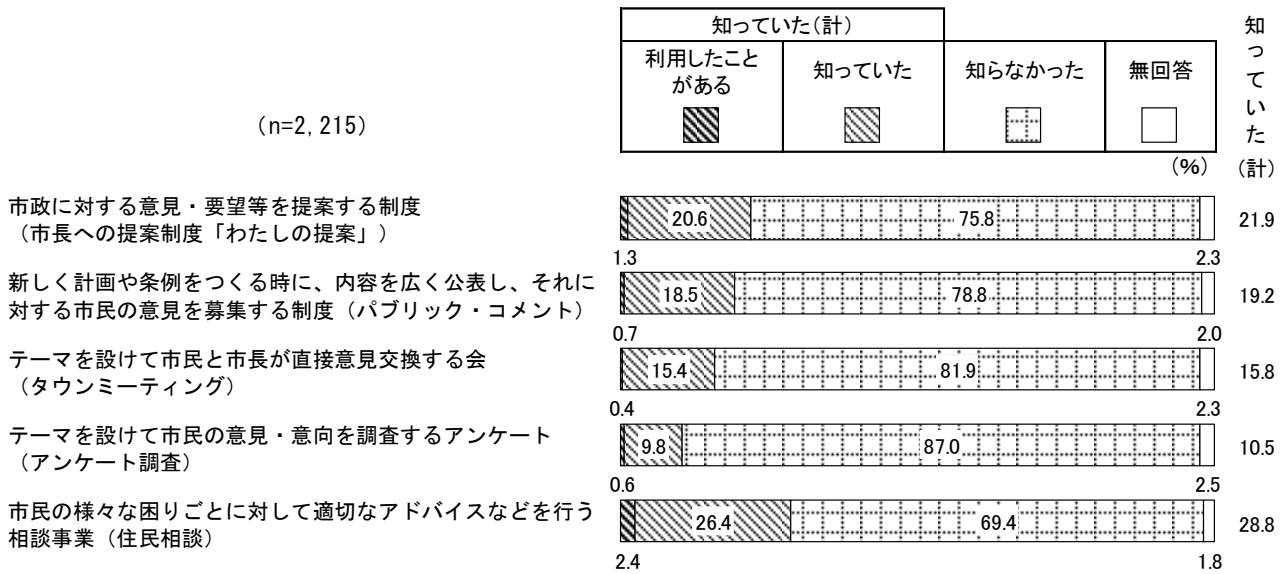


「とても良くなっていると思う」(24.9%)と「やや良くなっていると思う」(35.9%)を合わせた『良くなっていると思う(計)』(60.9%)は、ほぼ6割であった。一方、「良くなっているとは思わない」(11.8%)と「悪くなっていると思う」(2.2%)を合わせた『悪くなっていると思う(計)』(13.9%)は1割を超えた。

令和4年度の調査結果と比較すると、『良くなっていると思う(計)』が9.9ポイント増加した。

問 12 さいたま市では、広く市民の声を聴く事業を行っています。

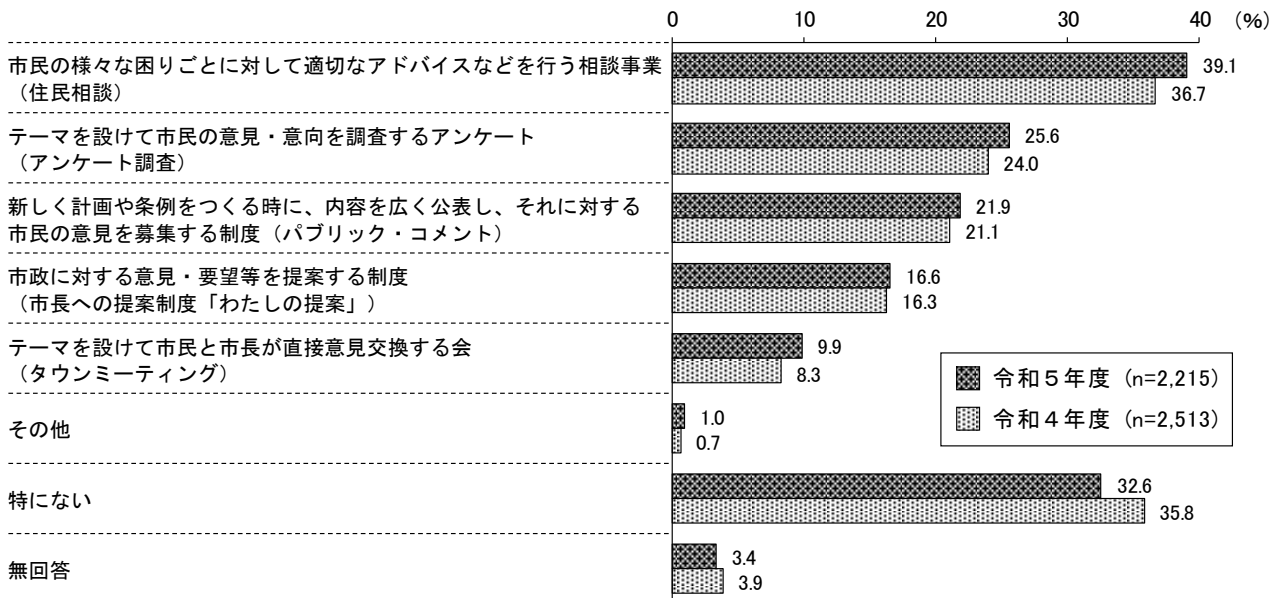
(1) 以下の1～5の事業について、どの程度知っていましたか。(○はそれぞれ1つつ)



「利用したことがある」と「知っていた」を合わせた『知っていた(計)』は、「住民相談」が28.8%で最も高かった。

問 12 さいたま市では、広く市民の声を聴く事業を行っています。

(2) 前問と同じ1～5の項目で、あなたが今後利用してみたい、あるいは、機会があれば協力してみたい事業に○をつけてください。(○はいくつでも)



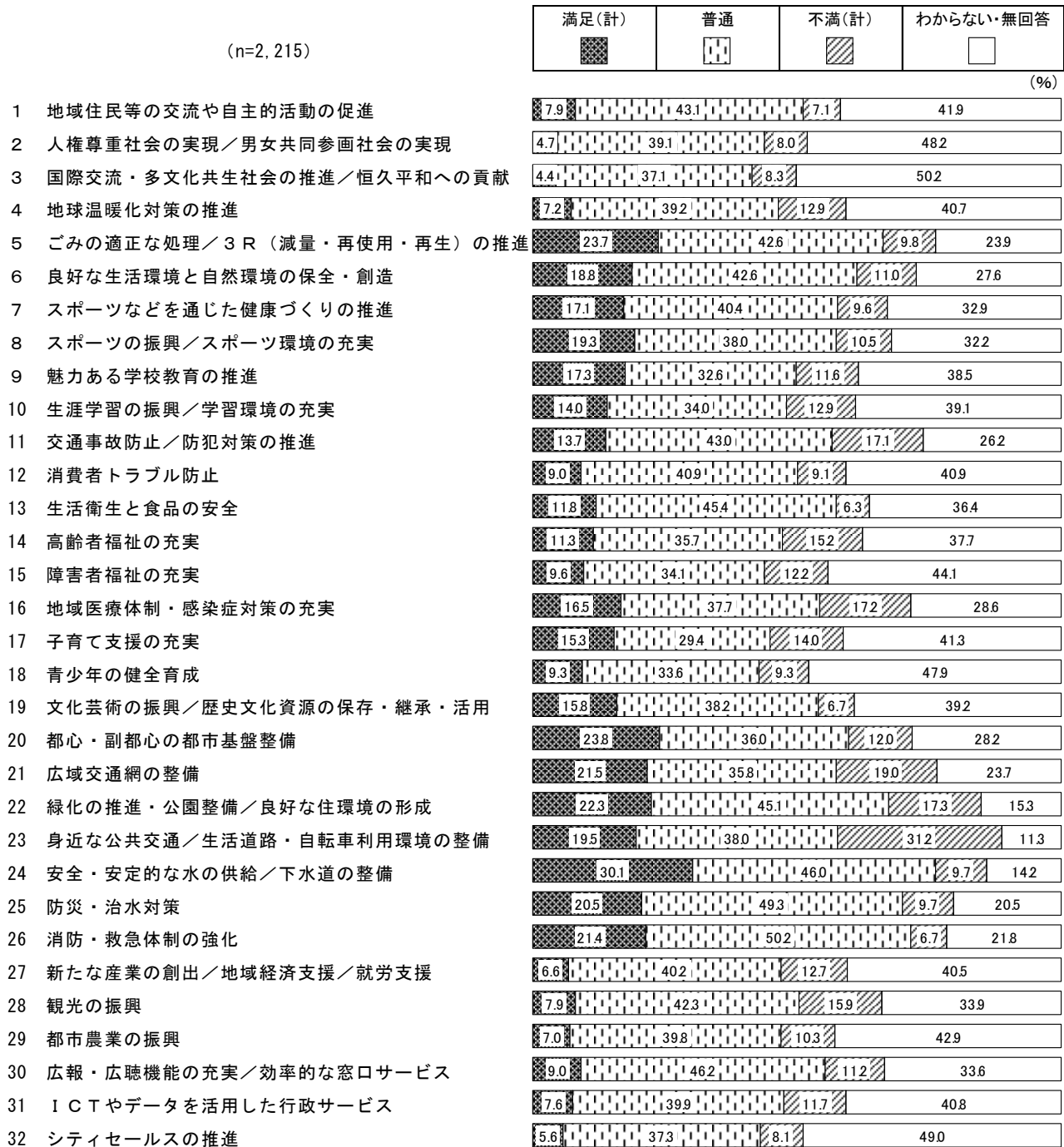
「住民相談」が39.1%で最も高く、「アンケート調査」(25.6%)、「パブリック・コメント」(21.9%)が2割台で続いた。

令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。

#### (4) 市政への満足度・重視度

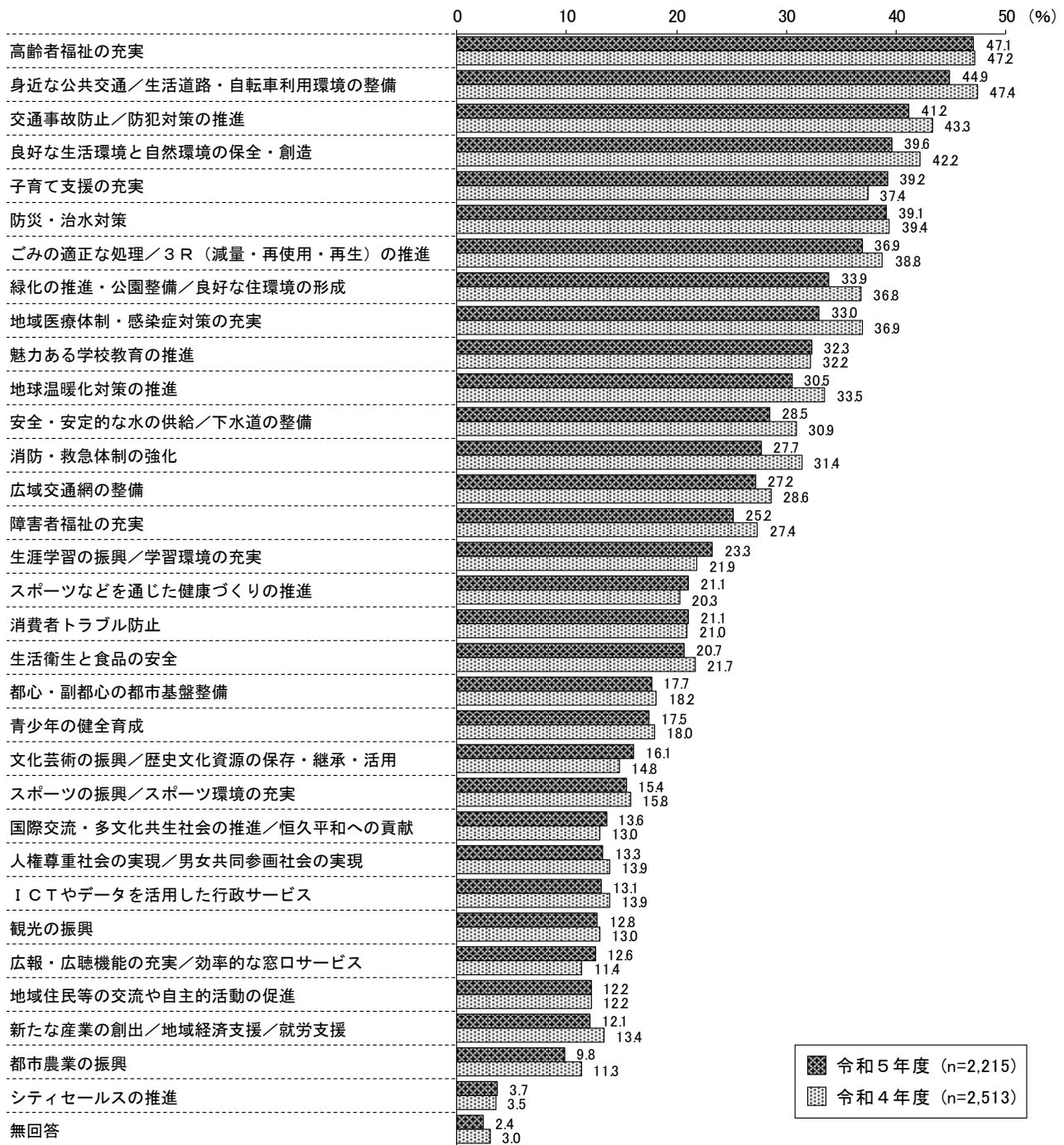
問 13 あなたは、以下の 1～32 の施策や事業について、どの程度満足していますか。

(○はそれぞれ1つずつ)



「満足」と「やや満足」を合わせた『満足(計)』は、「安全・安定的な水の供給／下水道の整備」が30.1%で最も高く、「都心・副都心の都市基盤整備」(23.8%)、「ごみの適正な処理／3R（減量・再使用・再生）の推進」(23.7%)が続いた。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満(計)』は、「身近な公共交通／生活道路・自転車利用環境の整備」が31.2%で最も高く、「広域交通網の整備」(19.0%)、「緑化の推進・公園整備／良好な住環境の形成」(17.3%)が続いた。

問 14 前問と同じ 1～32 の項目の中で、あなたが、今後力を入れて取り組んでほしいと思うものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)



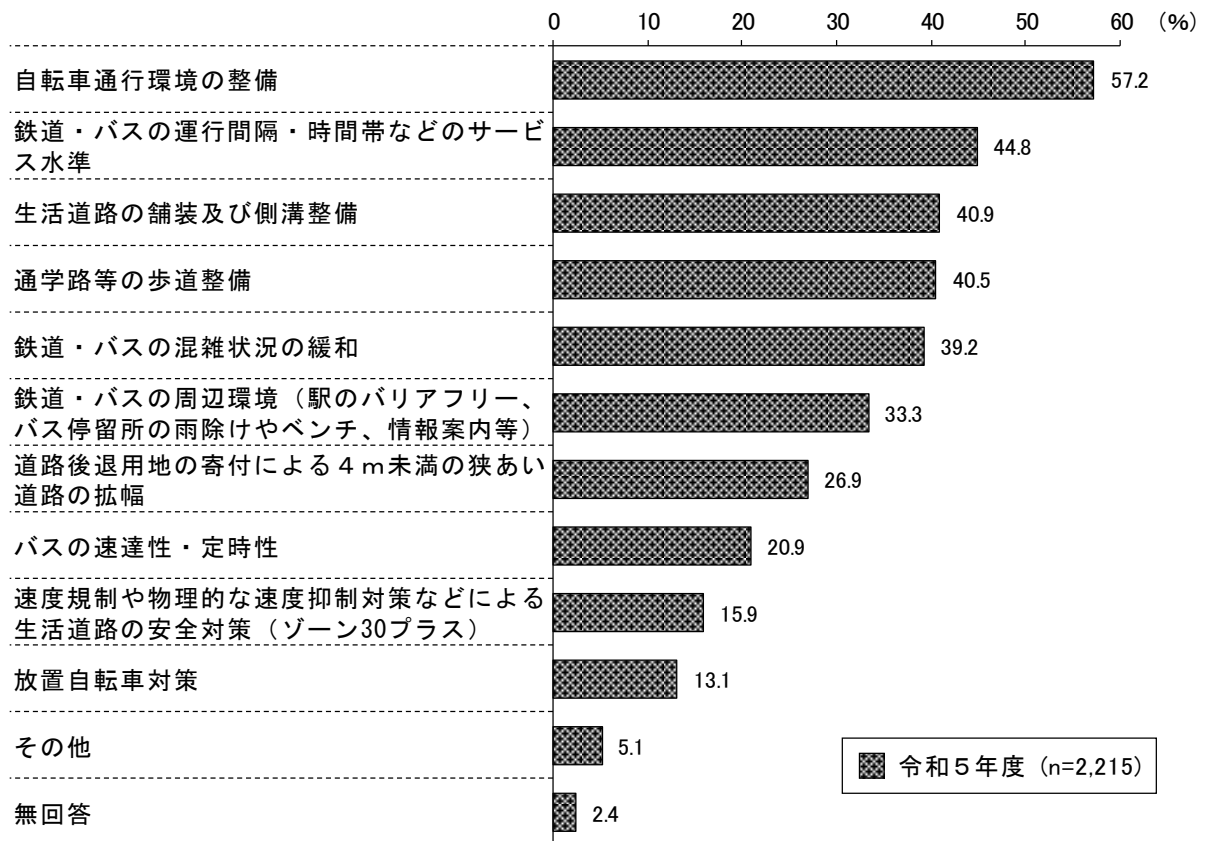
「高齢者福祉の充実」が 47.1%で最も高く、「身近な公共交通／生活道路・自転車利用環境の整備」(44.9%)、「交通事故防止／防犯対策の推進」(41.2%)が続いた。

令和4年度の調査結果と比較すると、「地域医療体制・感染症対策の充実」(33.0%)が3.9ポイント、「消防・救急体制の強化」(27.7%)が3.7ポイント減少した。



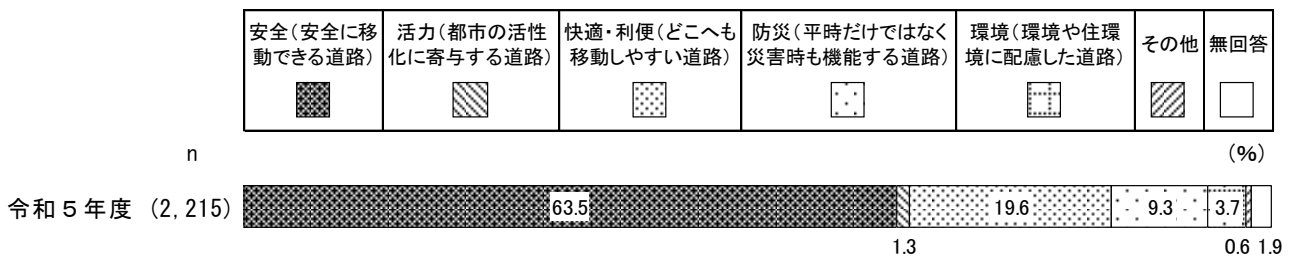
(5) さいたま市の道路

問 15 市内の公共交通・生活道路・自転車利用環境の向上に関して、あなたが特に重視することは何ですか。(〇はいくつでも)



「自転車通行環境の整備」が57.2%で最も高く、「鉄道・バスの運行間隔・時間帯などのサービス水準」(44.8%)、「生活道路の舗装及び側溝整備」(40.9%)が続いた。

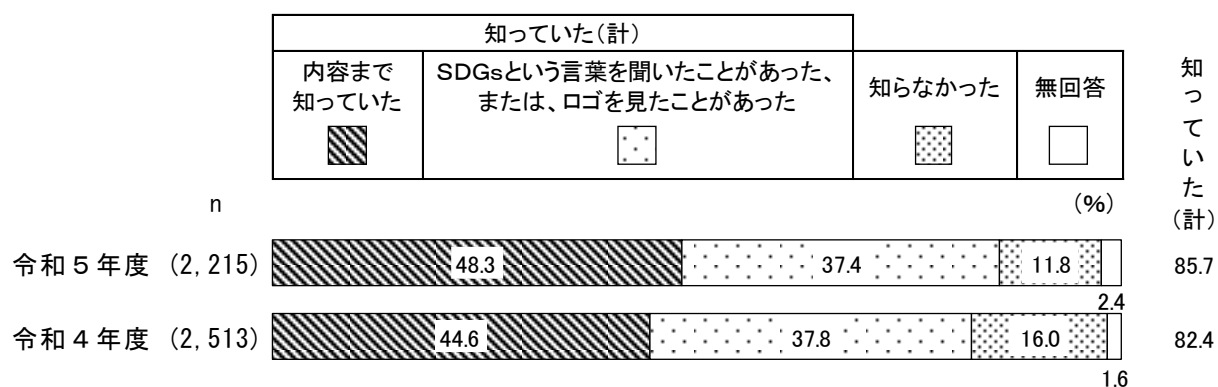
問 16 あなたが市内の幹線道路に最も求める機能（こと）は何ですか。(〇は1つ)



「安全(安全に移動できる道路)」が63.5%、「活力(都市の活性化に寄与する道路)」が1.3%、「快適・利便(どこへも移動しやすい道路)」が19.6%、「防災(平時だけではなく災害時も機能する道路)」が9.3%、「環境(環境や住環境に配慮した道路)」が3.7%であった。

## (6) SDGs

問17 あなたは、SDGsについてどの程度知っていましたか。(〇は1つ)



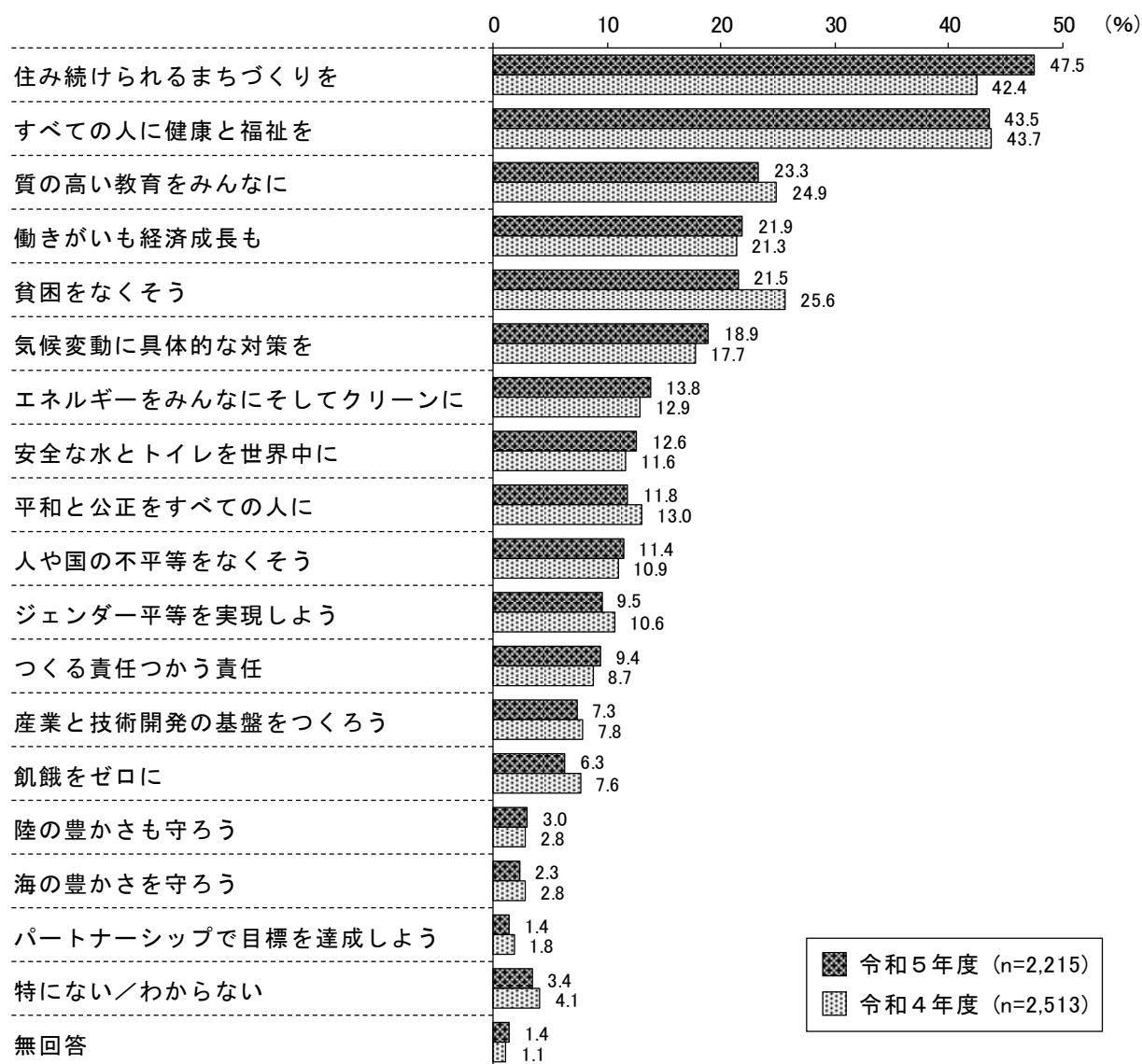
「内容まで知っていた」(48.3%)と「SDGsという言葉聞いたことがあった、または、ロゴを見たことがあった」(37.4%)を合わせた『知っていた(計)』(85.7%)は、8割半ばであった。一方、「知らなかった」(11.8%)は、1割を超えた。

令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。

問 18 SDGsは国際的な目標ですが、様々な地域で一人ひとりがその達成に向けて取り組んでいます。

今後、さいたま市が「持続可能な都市」となっていくために、どの目標の実現を重視するとよいと思いますか。以下の中から、あてはまるものを3つまで選んでください。

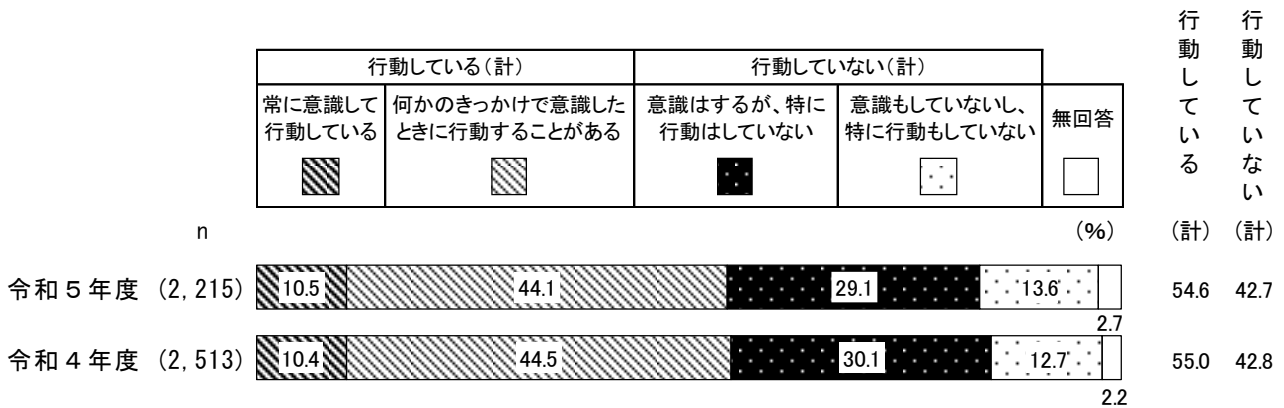
(○は3つまで)



「住み続けられるまちづくりを」が47.5%で最も高く、「すべての人に健康と福祉を」(43.5%)、「質の高い教育をみんなに」(23.3%)が続いた。

令和4年度の調査結果と比較すると、「住み続けられるまちづくりを」が5.1ポイント増加した一方、「貧困をなくそう」(21.5%)が4.1ポイント減少した。

問 19 あなたは、家庭や仕事などの日常生活において、SDGsの17の目標のうち、1つでも意識して行動をしていますか。(〇は1つ)

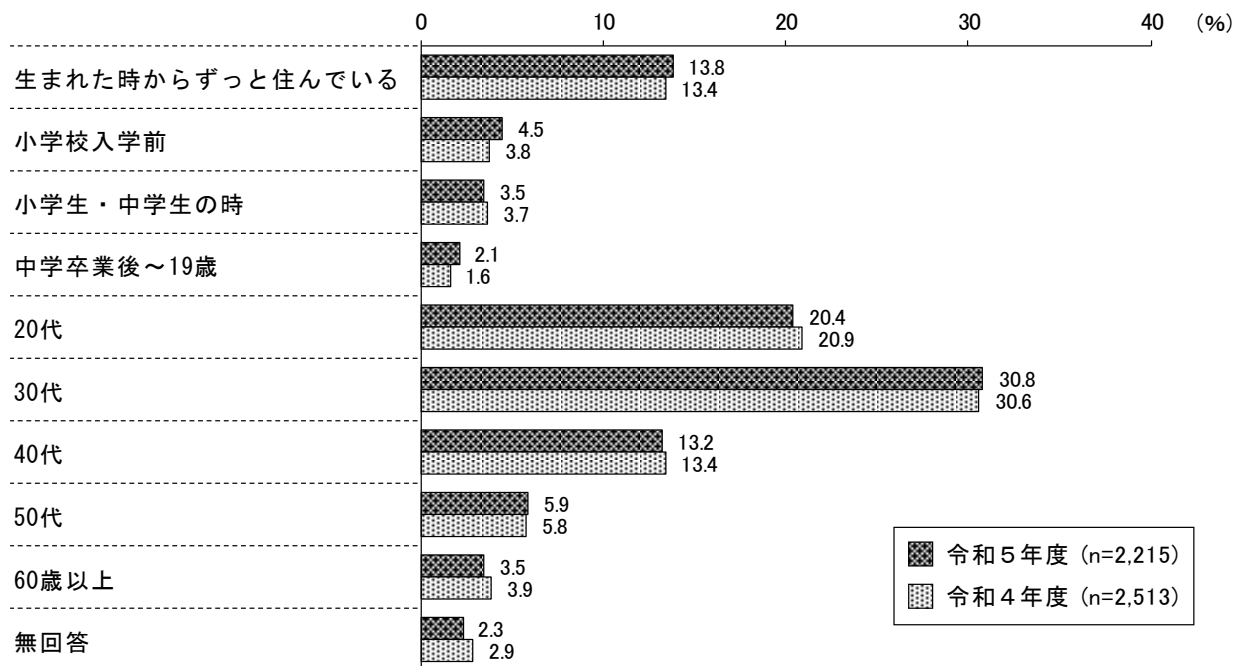


「常に意識して行動している」(10.5%)と「何かのきっかけで意識したときに行動することがある」(44.1%)を合わせた『行動している(計)』(54.6%)は5割半ばであった。一方、「意識はするが、特に行動はしていない」(29.1%)と「意識もしていないし、特に行動もしていない」(13.6%)を合わせた『行動していない(計)』(42.7%)は4割を超えた。

令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。

### (7) 今の地域を選んだ理由

問 20 今の地域に住み始めたのは、あなたがいくつの時ですか。(〇は1つ)

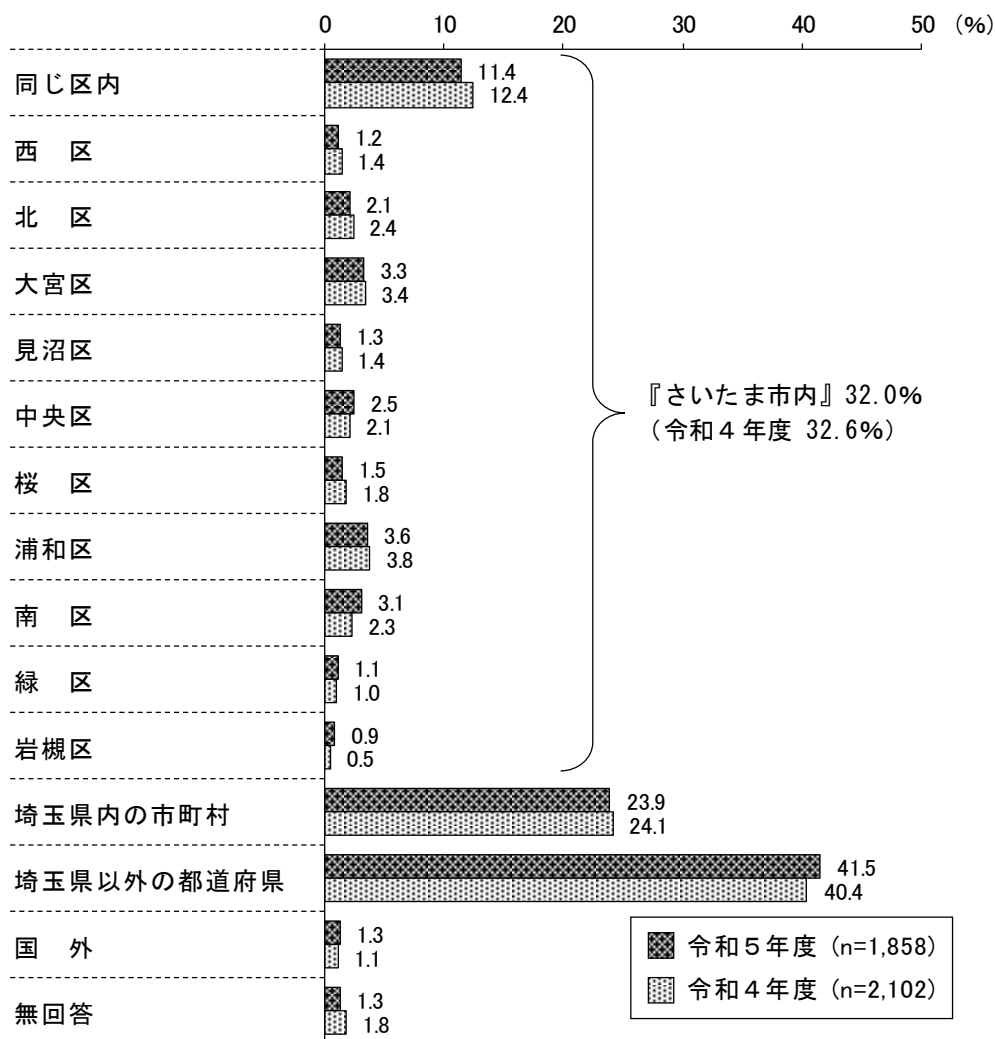


「30代」が30.8%で最も高く、「20代」(20.4%)、「生まれた時からずっと住んでいる」(13.8%)が続いた。全体の半数が20～30代に転入している。

令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。

(引越してきた人に質問します。)

問 20-1 どこから、今の地域に引っ越してきましたか。同じ区内で転居した方は、現在お住まいの区を選んでください。(○は1つ)



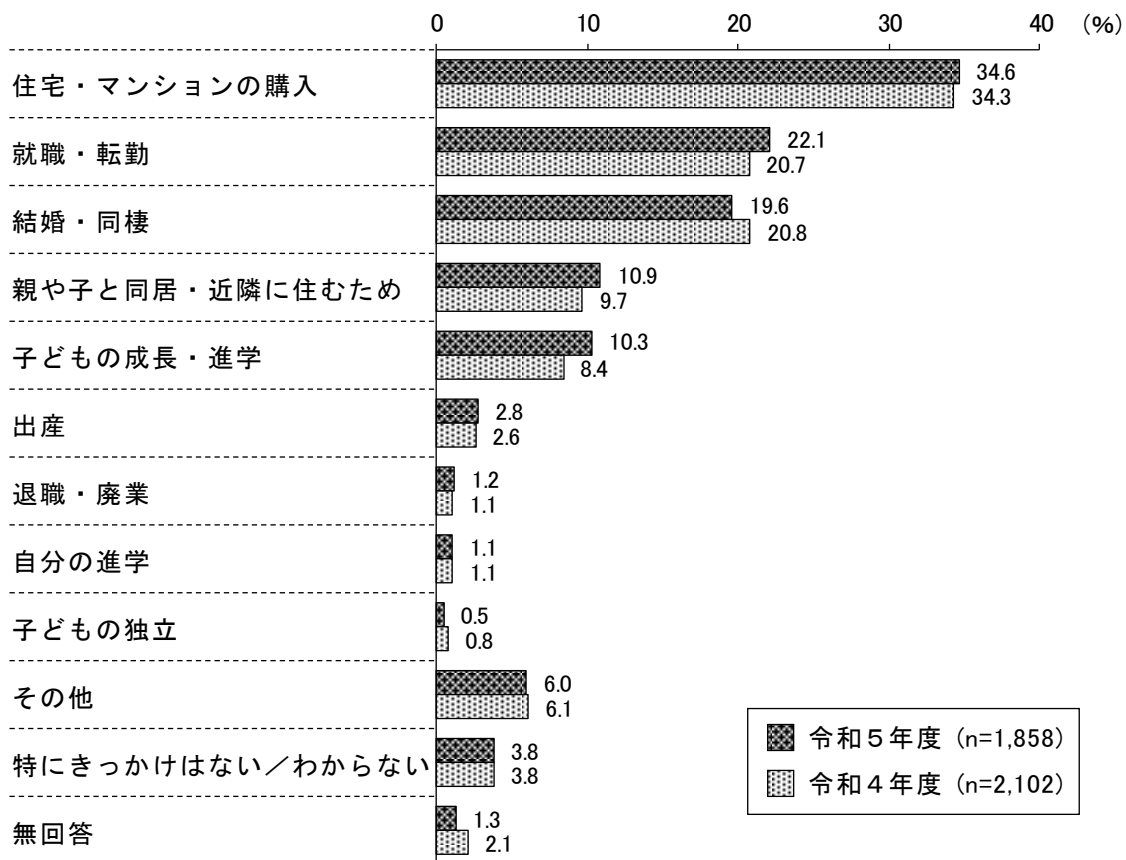
(注) この質問でさいたま市内の10区を答えた人の回答が、居住区(参照:報告書5ページ・(3)居住区)の回答と同じである人を「同じ区内」に区分して再集計した結果を示している。

『さいたま市内』の合計が32.0%で、「埼玉県内の市町村」は23.9%、「埼玉県以外の都道府県」は41.5%であった。

令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。

(引っ越してきた人に質問します。)

問 20-2 以前の地域から引っ越してきたきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

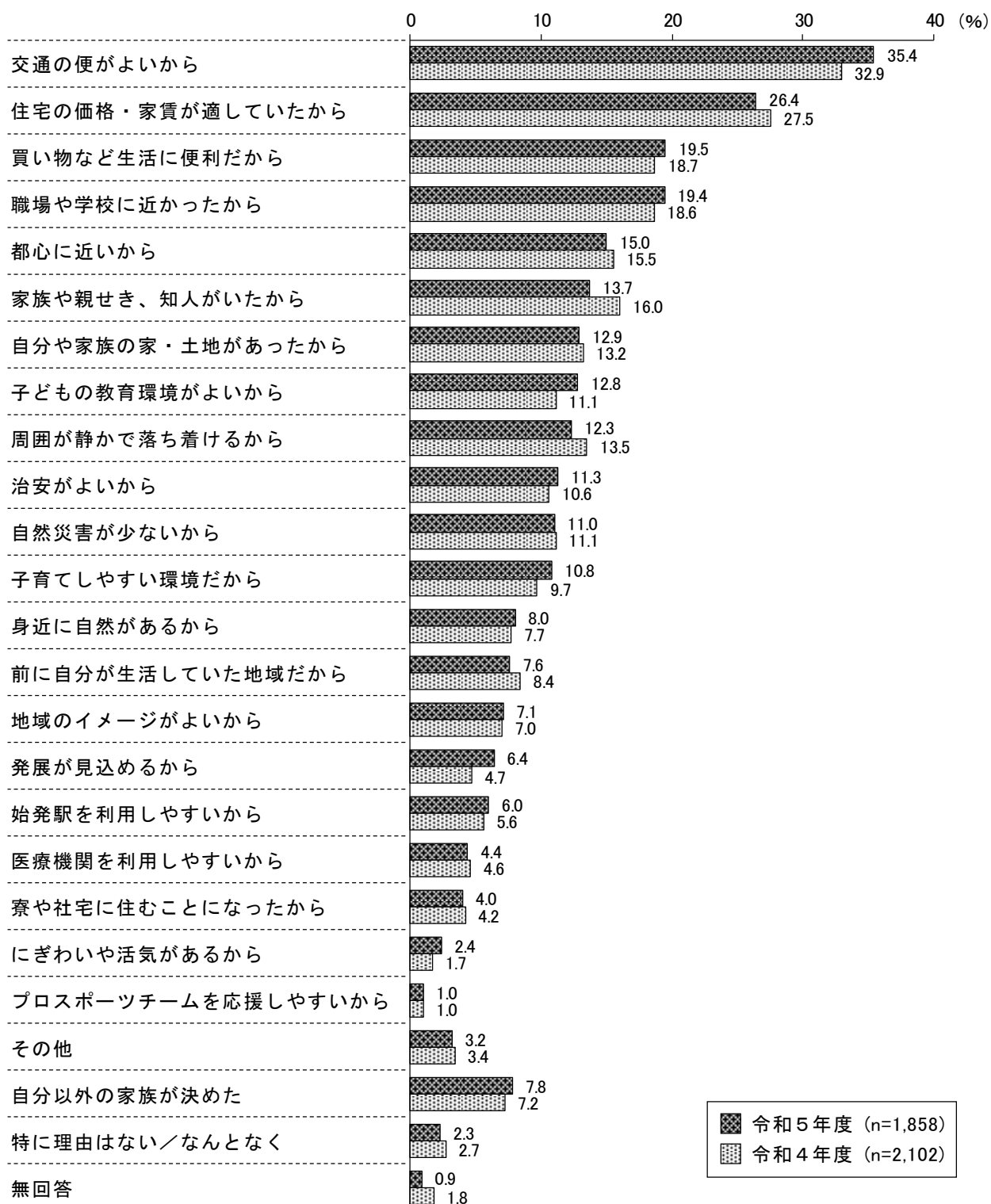


「住宅・マンションの購入」が34.6%で最も高く、「就職・転勤」(22.1%)、「結婚・同棲」(19.6%)が続いた。

令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。

(引っ越してきた人に質問します。)

問 20-3 今の地域を選んだ大きな理由は何ですか。(〇はいくつでも)



「交通の便がよいから」が35.4%で最も高く、「住宅の価格・家賃が適していたから」(26.4%)、「買い物など生活に便利だから」(19.5%)、「職場や学校に近かったから」(19.4%)が続いた。

令和4年度の調査結果と、おおむね同じであった。





### Ⅲ 在勤者意識調査

## 1 調査結果の要約

### (1) さいたま市のイメージは、「買い物など生活に便利なまち」、「交通の利便性が高いまち」

さいたま市のイメージとして、「買い物など生活に便利なまち」が64.5%で最も高く、「交通の利便性が高いまち」(58.9%)、「関東の主要都市」(42.9%)が続いた。(参照：報告書35ページ・問1(1))

### (2) 「岩槻の人形」の知名度がほぼ7割

さいたま市の施設、名所、文化財、伝統産業、イベントなどの知名度は、「岩槻の人形」が69.1%で最も高く、「浦和のうなぎ」(60.2%)、「大宮盆栽村」(49.5%)が続いた。

(参照：報告書37ページ・問2)

### (3) 市の情報を入手する方法は「家族や知人の話」が3割近く

市の情報を入手する方法としては、「家族や知人の話」が27.8%で最も高く、「その他のインターネット」(16.5%)、「全国新聞」(15.3%)が続いた。(参照：報告書38ページ・問3)

### (4) 住みやすいまちの条件は「電車の便がよい」、「治安がよい」が多い

住みやすいまちの条件としては、「電車の便がよい」が76.0%で最も高く、「治安がよい」(73.8%)が7割台で続いた。また、さいたま市が住みやすいまちだと思うか聞いたところ、「そう思う」(48.0%)は5割近くであった。(参照：報告書39～40ページ・問4(1)、問4(2))

### (5) さいたま市内に立ち寄る目的は「買い物」と「飲食」

仕事のあと、月1回以上さいたま市内に立ち寄る人は64.0%であり、立ち寄る目的は「買い物」(71.3%)と「飲食」(68.2%)が特に高かった。(参照：報告書40～41ページ・問5、問5-1)

### (6) 買い物や遊びで、さいたま市に来てみたい人は7割半ば

仕事が休みの日に、買い物や遊びで、さいたま市に来てみたいと思う人は74.2%であった。

(参照：報告書41ページ・問6)

## 2 回答者の属性

### (1) 性別

属性	回答者数	比率
男性	321	58.4%
女性	218	39.6
選べない・答えたくない	3	0.5
無回答	8	1.5
全体	550	100.0

### (2) 年代

属性	回答者数	比率
18～19歳	3	0.5%
20代	61	11.1
30代	99	18.0
40代	164	29.8
50代	138	25.1
60代	60	10.9
70歳以上	15	2.7
無回答	10	1.8
全体	550	100.0

### (3) 居住地域

属性	回答者数	比率
近隣市北部	120	21.8%
近隣市南部	65	11.8
埼玉県西部及び秩父地域	68	12.4
埼玉県東部地域	152	27.6
埼玉県北部地域	14	2.5
東京都23区	51	9.3
その他の東京都	16	2.9
千葉県	18	3.3
神奈川県	13	2.4
その他	23	4.2
無回答	10	1.8
全体	550	100.0

### (4) 在勤区

属性	回答者数	比率
西区	34	6.2%
北区	84	15.3
大宮区	85	15.5
見沼区	43	7.8
中央区	70	12.7
桜区	19	3.5
浦和区	75	13.6
南区	52	9.5
緑区	13	2.4
岩槻区	62	11.3
無回答	13	2.4
全体	550	100.0

### (5) さいたま市内での在勤年数 (合併前も含む)

属性	回答者数	比率
1年未満	50	9.1%
1～3年未満	92	16.7
3～5年未満	84	15.3
5～10年未満	97	17.6
10～20年未満	134	24.4
20年以上	83	15.1
無回答	10	1.8
全体	550	100.0

### (6) 通勤時間

属性	回答者数	比率
30分未満	72	13.1%
30分～1時間未満	243	44.2
1時間～1時間半未満	153	27.8
1時間半～2時間未満	58	10.5
2時間以上	13	2.4
無回答	11	2.0
全体	550	100.0

(7) 通勤手段

属 性	回答者数	比率
電車	331	60.2%
路線バス	4	0.7
送迎バス	0	0.0
自家用車	167	30.4
バイク	8	1.5
自転車	24	4.4
徒歩	4	0.7
その他	3	0.5
無回答	9	1.6
全 体	550	100.0

(8) 家族構成

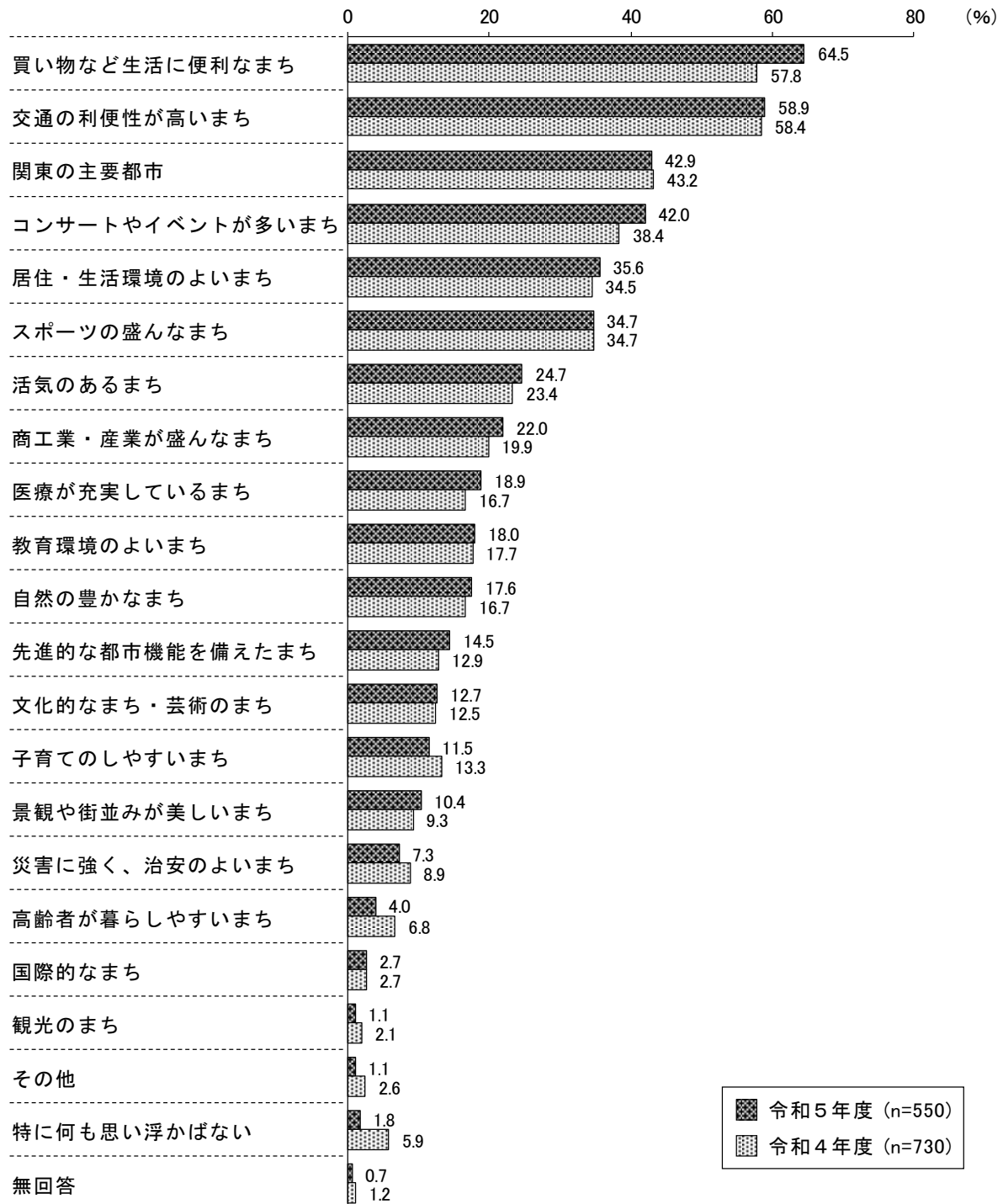
属 性	回答者数	比率
一人暮らし	67	12.2%
夫婦だけ	110	20.0
親子（2世代）	330	60.0
親と子と孫（3世代）	28	5.1
その他	7	1.3
無回答	8	1.5
全 体	550	100.0

### 3 調査の結果

#### (1) さいたま市のイメージ

問1 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。

(1) あなたは、「さいたま市」にどのようなイメージを持っていますか。(〇はいくつでも)

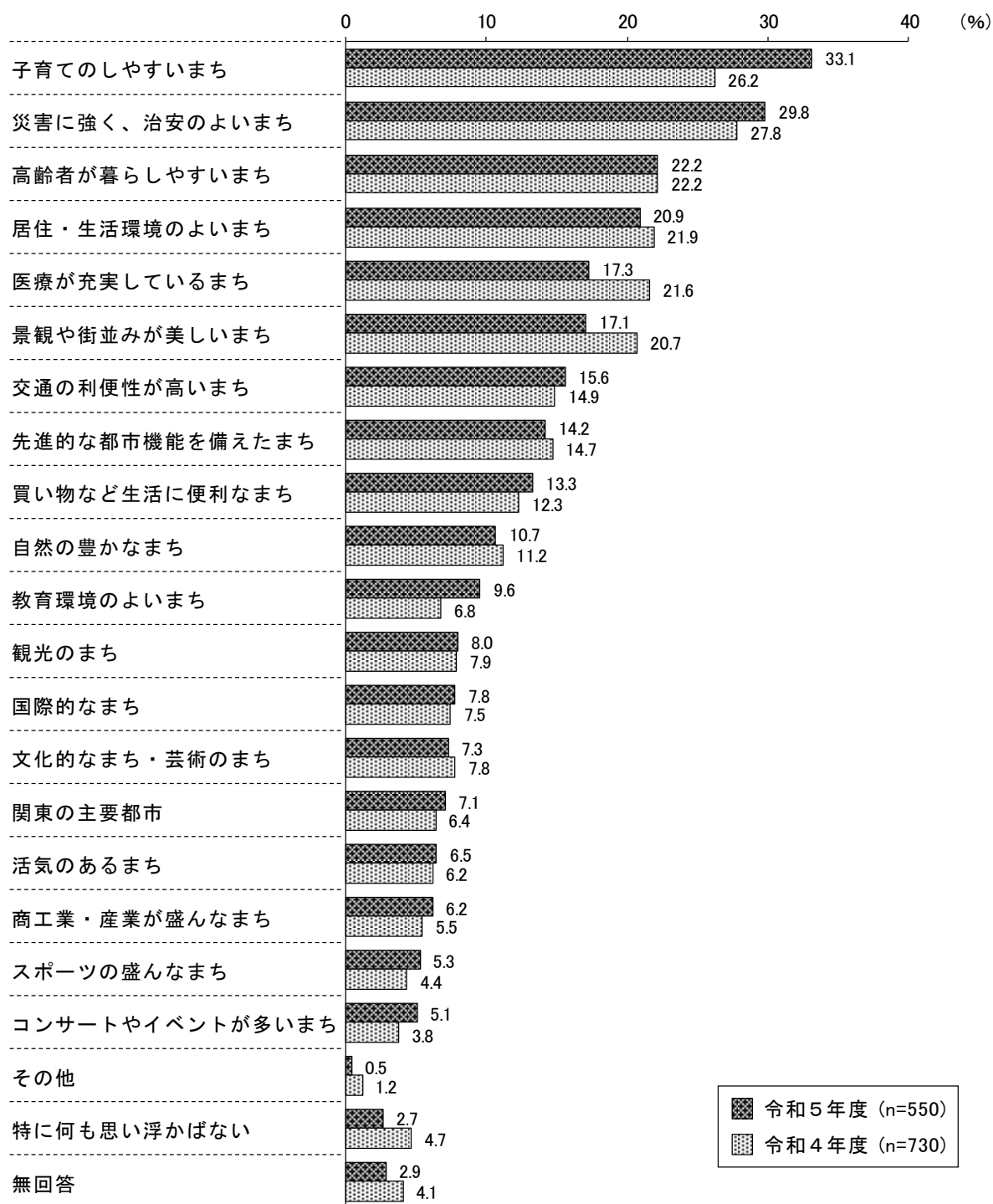


「買い物など生活に便利なまち」が64.5%で最も高く、「交通の利便性が高いまち」(58.9%)、「関東の主要都市」(42.9%)が続いた。

令和4年度の調査結果と比較すると、「買い物など生活に便利なまち」が6.7ポイント、「コンサートやイベントが多いまち」(42.0%)が3.6ポイント増加した。

問1 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。

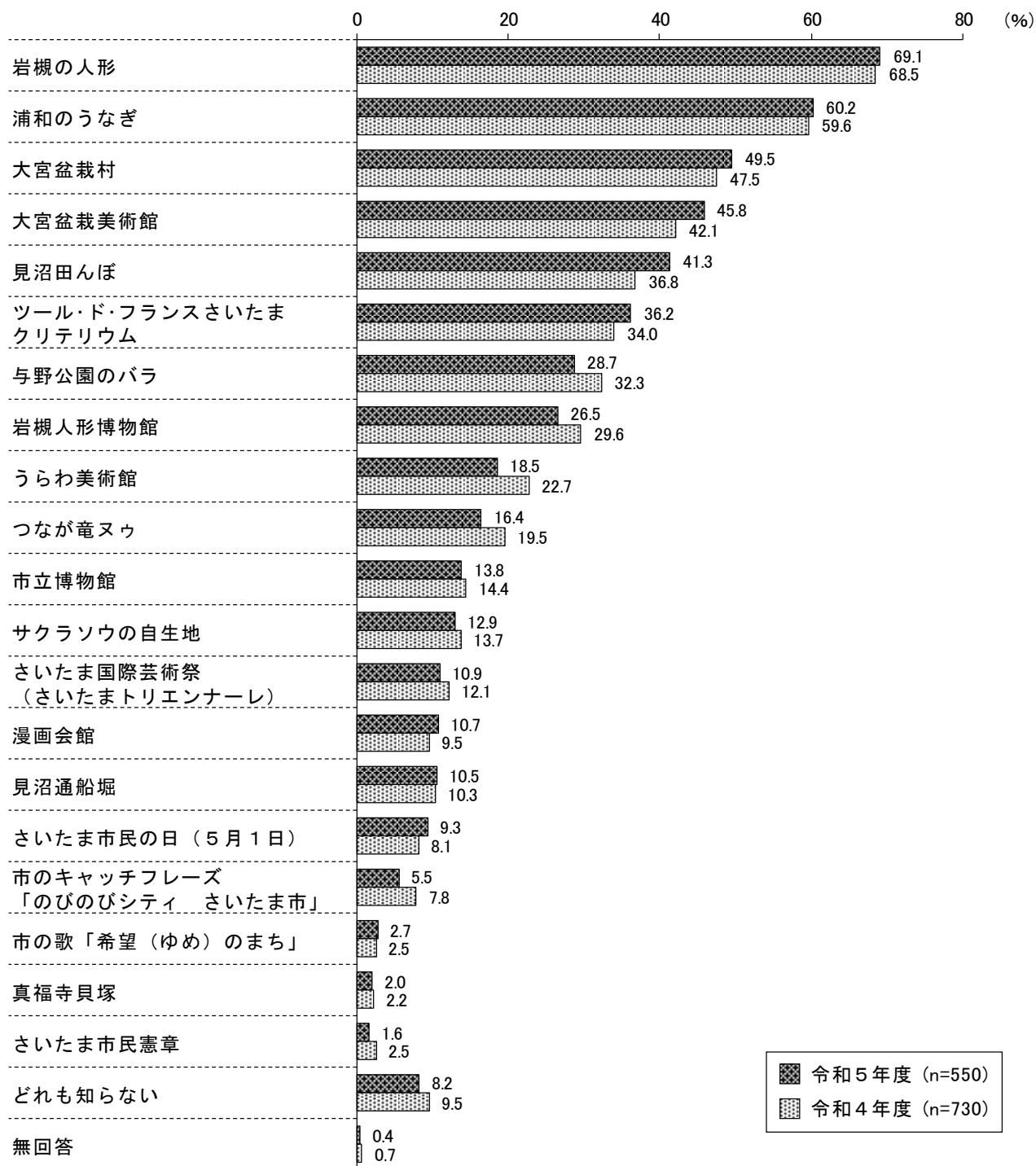
(2) あなたは、「さいたま市」が今後いっそう魅力的な都市になるためには、将来どのような方向へ発展するとよいと思いますか。(〇は3つまで)



「子育てのしやすいまち」が33.1%で最も高く、「災害に強く、治安のよいまち」(29.8%)、「高齢者が暮らしやすいまち」(22.2%)が続いた。

令和4年度の調査結果と比較すると、「子育てのしやすいまち」が6.9ポイント増加した一方、「医療が充実しているまち」(17.3%)が4.3ポイント、「景観や街並みが美しいまち」(17.1%)が3.6ポイント減少した。

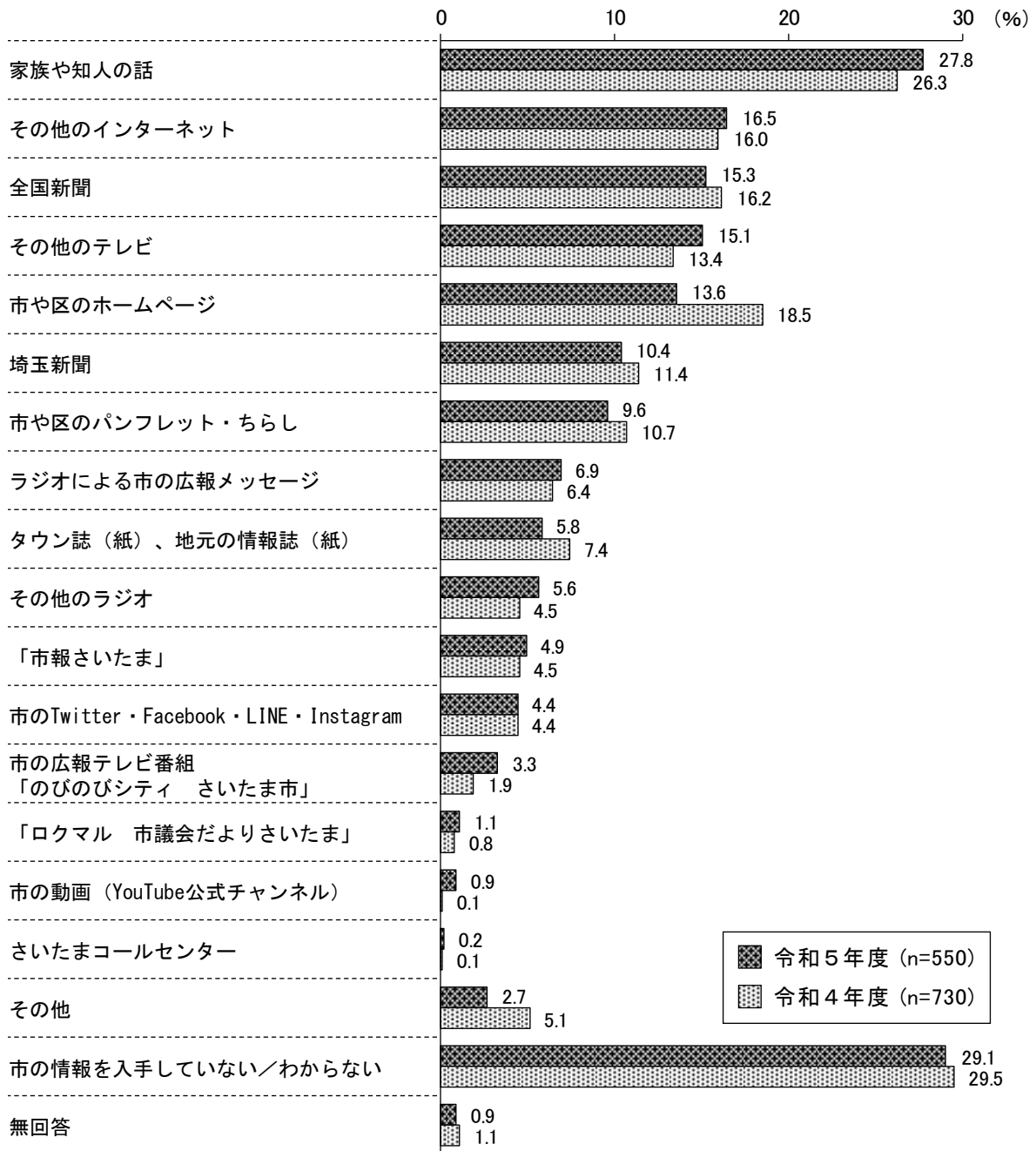
問2 さいたま市の施設、名所、文化財、伝統産業、イベントなどについて、あなたが知っているものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)



「岩槻の人形」が69.1%で最も高く、「浦和のうなぎ」(60.2%)、「大宮盆栽村」(49.5%)が続いた。令和4年度の調査結果と比較すると、「見沼田んぼ」(41.3%)が4.5ポイント、「大宮盆栽美術館」(45.8%)が3.7ポイント増加した一方、「うらわ美術館」(18.5%)が4.2ポイント、「与野公園のバラ」(28.7%)が3.6ポイント減少した。

問3 あなたは、さいたま市が発信する情報をどのような方法で入手していますか。

(〇はいくつでも)



「家族や知人の話」が27.8%で最も高く、「その他のインターネット」(16.5%)、「全国新聞」(15.3%)、「その他のテレビ」(15.1%)が続いた。

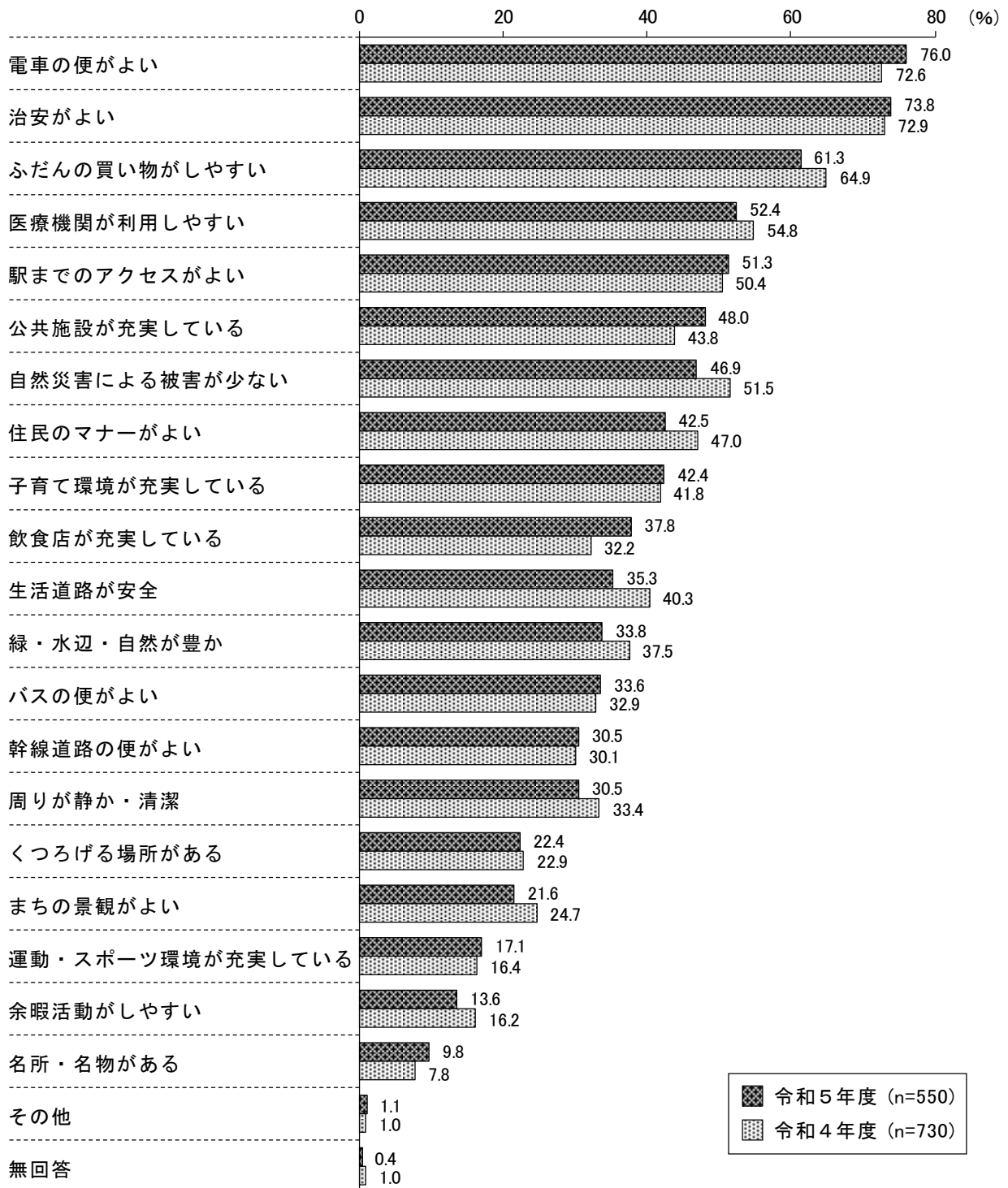
令和4年度の調査結果と比較すると、「市や区のホームページ」(13.6%)が4.9ポイント減少した。



問4 住みやすいまちの条件と、それに対するさいたま市の評価について質問します。

(1) あなたにとって、「住みやすいまち」とは、どのようなまちですか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

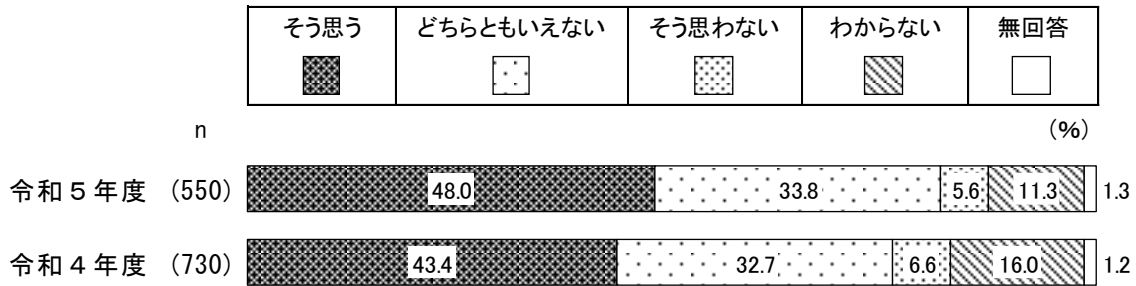


「電車の便がよい」が76.0%で最も高く、「治安がよい」(73.8%)、「ふだんの買い物がしやすい」(61.3%)が続いた。

令和4年度の調査結果と比較すると、「飲食店が充実している」(37.8%)が5.6ポイント増加した一方、「生活道路が安全」(35.3%)が5.0ポイント減少した。

問4 住みやすいまちの条件と、それに対するさいたま市の評価について質問します。

(2) あなたは、さいたま市は「住みやすいまち」だと思いますか。(○は1つ)

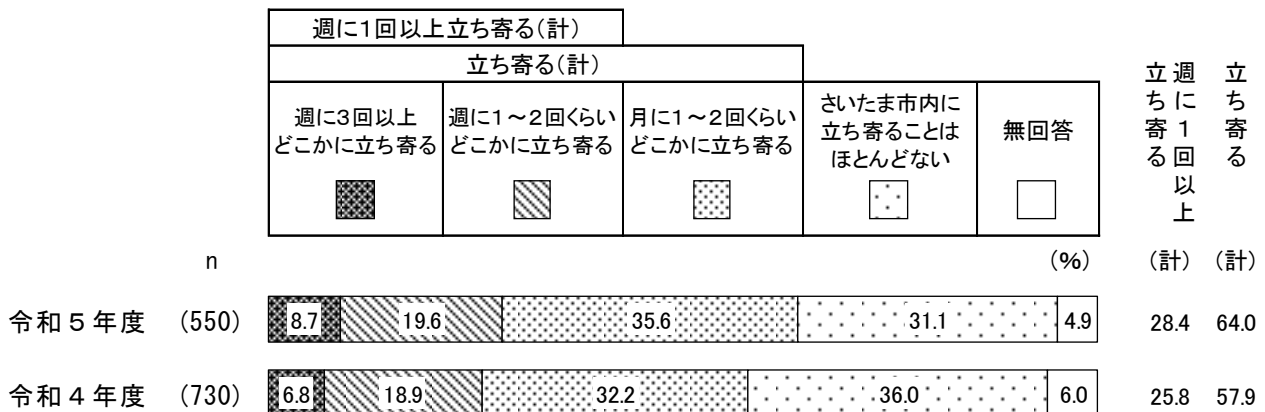


「そう思う」が48.0%で、「そう思わない」(5.6%)を上回った。

令和4年度の調査結果と比較すると、「そう思う」が4.6ポイント増加した。

## (2) 市内での活動

問5 あなたは、お仕事が終わったあと、食事や買い物などでさいたま市内のどこかに立ち寄ることがありますか。(○は1つ)

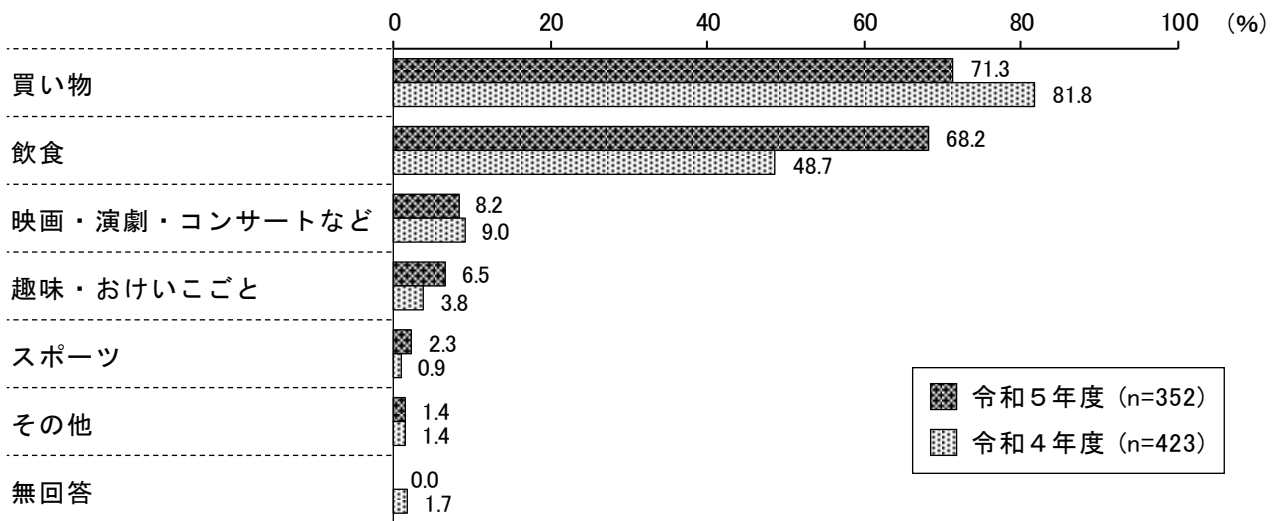


「週に3回以上どこかに立ち寄る」(8.7%)と「週に1~2回くらいどこかに立ち寄る」(19.6%)を合わせた『週に1回以上立ち寄る(計)』は28.4%であった。さらに「月に1~2回くらいどこかに立ち寄る」(35.6%)を合わせた『立ち寄る(計)』は64.0%であった。

令和4年度の調査結果と比較すると、『立ち寄る(計)』が6.1ポイント増加した。

(問5で「週に3回以上どこかに立ち寄る」「週に1～2回くらいどこかに立ち寄る」「月に1～2回くらいどこかに立ち寄る」と答えた方に)

問5-1 どのような目的で市内に立ち寄りますか。(〇はいくつでも)

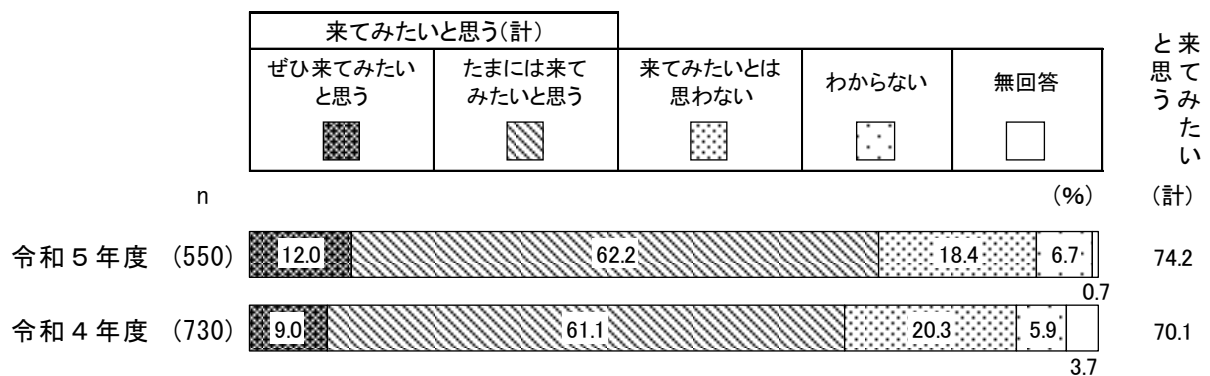


「買い物」(71.3%)と「飲食」(68.2%)が高かった。

令和4年度の調査結果と比較すると、「飲食」が19.5ポイント増加した一方、「買い物」が10.5ポイント減少した。

問6 あなたは、仕事が休みの日に、買い物や遊びで、さいたま市に来てみたいと思いますか。

(〇は1つ)



「ぜひ来てみたいと思う」(12.0%)と「たまには来てみたいと思う」(62.2%)を合わせた『来てみたいと思う(計)』は74.2%であった。

令和4年度の調査結果と比較すると、『来てみたいと思う(計)』が4.1ポイント増加した。

[このさいたま市民意識調査業務の委託に要する経費は、203万円です。]